

静岡県御前崎市

文化財年報 XⅢ

平成 28 年度



2018

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財(建造物)「旧妙音庵薬師堂」

静岡県御前崎市

文化財年報 XⅢ

平成 28 年 度

2018

御前崎市教育委員会

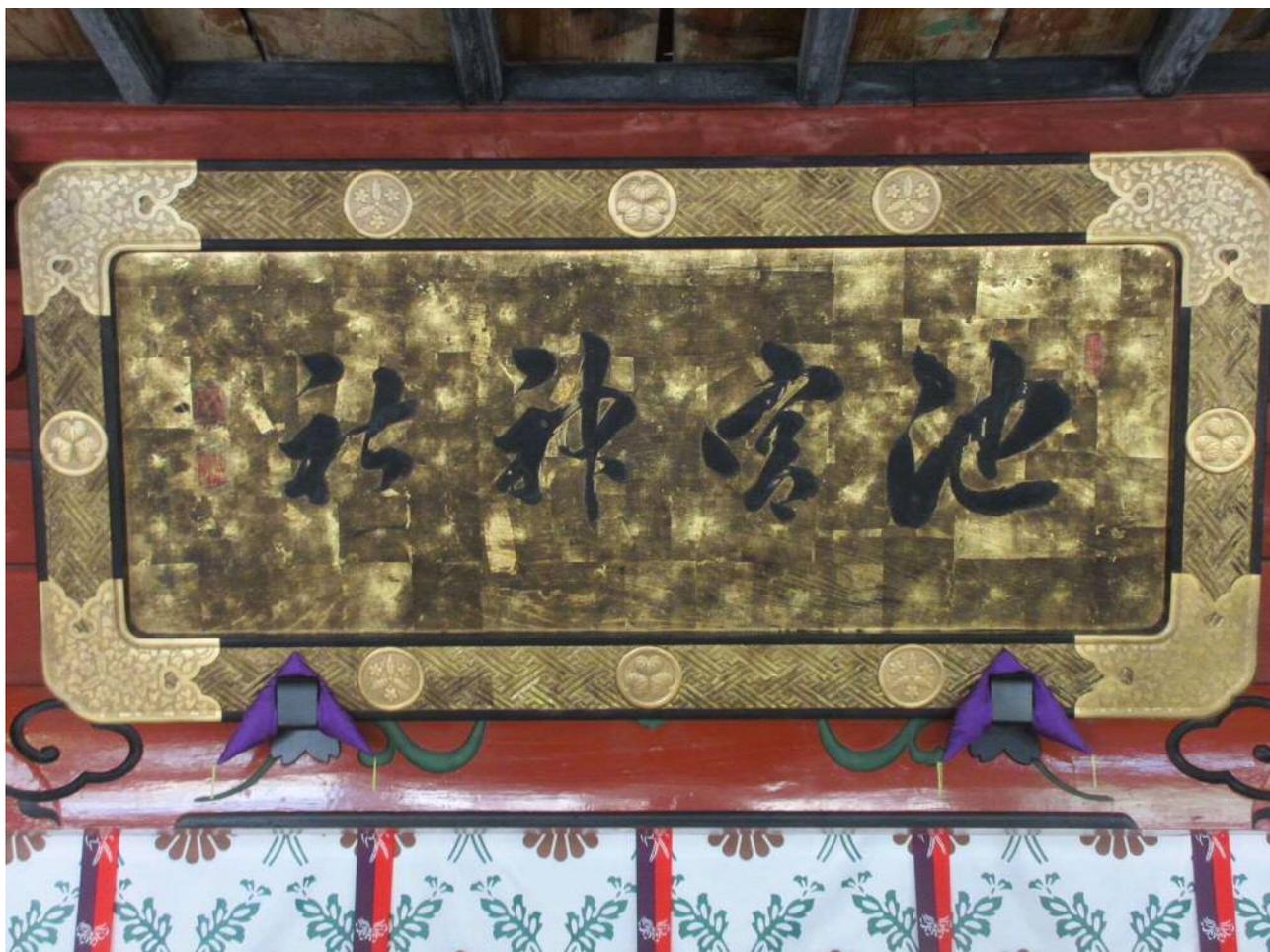


写真1 御前崎市指定有形文化財「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」



写真2 徳川家の家紋「三つ葉葵」の飾り金具



写真3 佐倉家の家紋「葉三花三」の飾り金具



写真 1 89年ぶりに静岡県に里帰りし、市町巡回展で御前崎市の市立図書館で展示された答礼人形「富士山三保子」

序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡はじめ、戦国時代の城館にいたるまで 100 箇所以上の様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形の文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、市民の皆様がその多様な価値により豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで平成 28 年度も下記のように文化財保護事業を行いました。つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様のご理解、ご協力に感謝し、今後もより一層のご支援をお願い申し上げます。

以下、平成 28 年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財確認調査 1 件(釜原城跡)、試掘調査 3 件(豊受神社北・中田西ノ谷遺跡・幡室遺跡)
- 埋蔵文化財工事立会 3 件(豊受神社北・中田西ノ谷遺跡・賀茂神社東遺跡)
- 出土遺物整理事業(星の糞遺跡・南谷遺跡・幡室遺跡)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額の御前崎市指定有形文化財指定
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社の社叢」の現状変更(社務所の建替工事)
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社の社叢」の維持の措置(大径木No.271 シイノキ幹の除去)
- 高松倉庫保管の有形民俗文化財燻蒸業務委託
- 桜ヶ池のお櫃納めビデオの DVD への変換
- 「ウミガメふ化場 PR 看板」新設・撤去工事
- 大日寺の大日如坐像説明看板の説明パネルの取替工事
- ウミガメ産卵地指定地域啓発看板の取替工事
- 釜原城跡説明看板の取替工事
- 市指定有形文化財「高松神社本殿」での文化財防火訓練の開催
- 御前崎市文化財保護審議会の開催
- 御前崎市文化財保護審議会視察研修の開催(浜松市北区の女城主直虎ゆかりの地など)
- 埋蔵文化財出張授業(浜岡北小学校・御前崎市振興公社ノルディックウォーク講座)
- 市内イベントにおける原始体験学習ブースの開設(御前崎市大産業まつり)
- 文化財保護強調週間事業(市内の指定文化財がある施設等へののぼり旗を設置しての周知等)
- 答礼人形「富士山三保子」市町巡回展(御前崎市会場)の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し

平成31年 1 月31日

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

例 言

- 1 本書は、平成 28 年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。
- 3 平成 28 年度に埋蔵文化財試掘調査を実施した試掘確認調査の報告書を本年報に掲載した。
- 4 埋蔵文化財整理事業は、市内遺跡の整理事業を実施した。
- 5 発掘調査の体制は、次のとおりである。

調査主体	御前崎市教育委員会		
発掘調査員	村本 薫	発掘作業員	前島和子、西川重雄
		整理作業員	高塚良美
- 6 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。

ウミガメ保護監視員	高田 正義 (通算 20 年目)
	大澤 茂美 (通算 16 年目)
	良知 正美 (通算 11 年目)
	鈴木 紀捷 (通算 8 年目)
	澤部 春市 (通算 5 年目)
	中田 豊 (通算 3 年目)
	早馬 彰夫 (通算 1 年目)
- 7 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。

教 育 長	篠田 暁美(平成 29 年 6 月 31 日まで)
	河原崎 全(平成 30 年 4 月 1 日から)
教育長職務執行者	吉村 勝(平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)
教 育 部 長	伊村 衛(平成 30 年 3 月 31 日まで)
	長尾 智生(平成 30 年 4 月 1 日から)
社会教育課長	村松 学(平成 29 年 3 月 31 日まで)
	鈴木 弘康(平成 29 年 4 月 1 日から)
芸術文化係	石川 由樹(平成 30 年 3 月 31 日まで)
	村本 薫
	増田 泰司(平成 30 年 4 月 1 日から)
	澤瀬 裕介(平成 29 年 3 月 31 日まで)
	松井 佳穂(平成 29 年 4 月 1 日から)
- 8 本書の執筆は文化財担当が分担して行い編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 埋蔵文化財調査	1～6	村本 薫	
II 文化財保護・管理	1	石川由樹・澤瀬裕介	2～8 村本 薫
III 文化財活用啓蒙活動	1～9	村本 薫	8・9 石川由樹・澤瀬裕介
IV 指定文化財一覧表	V 文化財関係刊行図書一覧	村本 薫	
- 9 本書に収録した実測図、写真及び出土遺物はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

目 次

巻頭図版

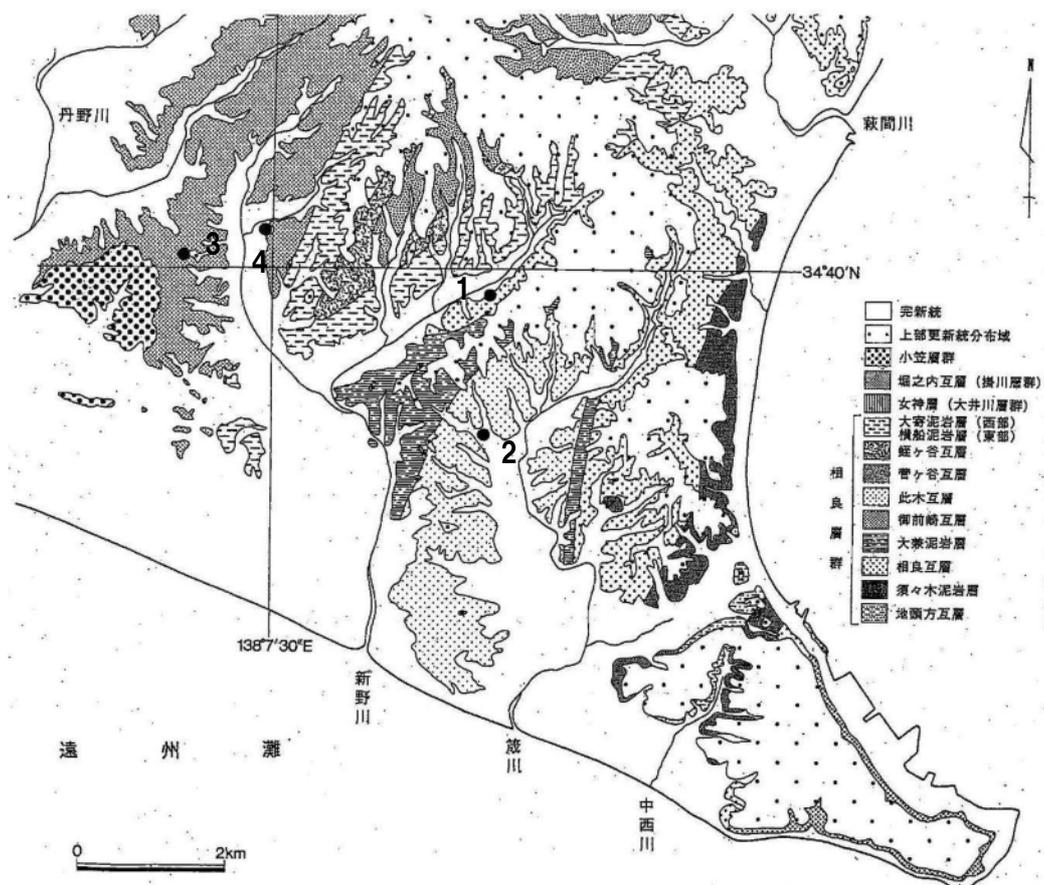
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	豊受神社北遺跡試掘調査報告書	2
3	中田西ノ谷遺跡試掘調査報告書	6
4	釜原城跡確認調査報告書	9
5	幡室遺跡試掘調査報告書	14
6	出土遺物整理事業	18
II	文化財保護・管理	19
1	国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業	19
2	市指定有形文化財『徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額』の指定	52
3	県指定天然記念物『比木賀茂神社社叢』の現状変更	54
4	県指定天然記念物『比木賀茂神社社叢』の損傷及び維持の措置	54
5	高松倉庫保管の有形民俗文化財燻蒸処理業務	55
6	文化財看板の取替工事	56
7	文化財防火デー	58
8	御前崎市文化財保護審議会	59
III	文化財活用・啓発活動	61
1	埋蔵文化財出張授業	61
2	市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設	62
3	御前崎市文化財保護強調週間事業	63
4	答礼人形「富士山三保子」市町巡回展(御前崎市会場)の開催	64
5	写真資料の利用	67
6	歴史民俗資料等の特別利用	68
7	歴史民俗資料等の貸出し	69
IV	指定文化財一覧	70
V	文化財関係刊行図書一覧	71

御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡の位置



埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

1 豊受遺跡

2 中田西ノ谷遺跡

3 釜原城跡

4 幡室遺跡

I 埋蔵文化財調査

1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、駐車場造成工事や個人住宅建替工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、試掘確認調査・工事立会を実施した。

試掘確認調査は試掘坑又はトレンチを設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は現在まで下表に示した、3件の試掘調査、1件の確認調査、3件の工事立会を実施した。

平成28年度市内遺跡試掘確認調査・工事立会実施遺跡一覧表

No.	遺跡名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要	備考
1	豊受神社北遺跡	御前崎市 上朝比奈字 宮ノ谷	豊受神社駐 車場造成工 事	豊受神社	H28.6.9	試掘調査 5㎡ (試掘坑2カ所) 遺構・遺物未発見	
2	豊受神社北遺跡	御前崎市 上朝比奈字 宮ノ谷	豊受神社駐 車場造成工 事	豊受神社	H28.7.1～ H28.9.30	工事立会 553㎡ 遺構・遺物未発見	
3	中田西ノ谷遺跡	御前崎市 比木字中田 西ノ谷	個人住宅建 替工事	個人	H28.9.9	試掘調査 2.4㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見	
4	中田西ノ谷遺跡	御前崎市 比木字中田 西ノ谷	個人住宅建 替工事	個人	H28.10.24～ H29.2.3	工事立会 68.30㎡ 遺構・遺物未発見	
5	賀茂神社東遺跡	御前崎市 比木三間	暗渠排水管 布設工事	御前崎市	H28.12.1～ H29.2.28	工事立会 38,226㎡ 遺構・遺物未発見	
6	釜原城跡	御前崎市 新野字坂田	桜の木の植 樹	地域団体	H29.2.13～ H29.2.22	確認調査 遺物未発見・近代 以降の遺構検出	
7	幡室遺跡	御前崎市 新野字大明 神	個人住宅新 築工事	個人	H29.3.23	試掘調査 遺構未発見・ 古墳・鎌倉時代の 土器類出土	



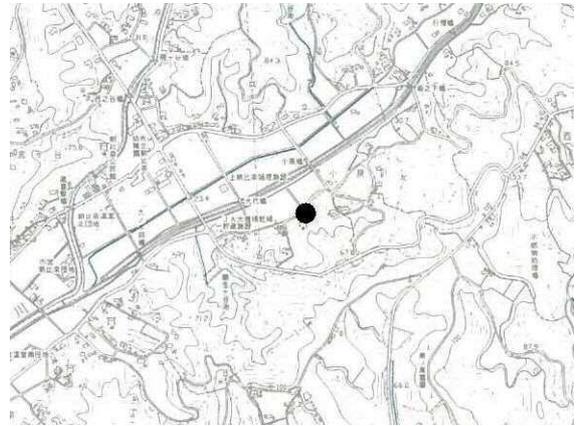
写真1 豊受神社北遺跡工事立会



写真2 中田西ノ谷遺跡工事立会

2 豊受神社北遺跡試掘調査報告書

所在地	御前崎市上朝比奈字宮ノ谷 2479-1、2480の一部
調査主体者	御前崎市教育委員会
調査担当者	社会教育課 村本 薫
調査面積	5 m ² (試掘坑2箇所)
確認調査期間	平成28年6月9日
調査目的	豊受神社駐車場造成工事に伴う試掘調査



第1図 遺跡の位置(1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

平成28年5月13日付で豊受神社代表役員より、豊受神社駐車場造成工事予定地(以下、当該地という。)における、文化財の所在有無について、照会があった。

それに基づき、照会のあった当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である豊受神社北遺跡に位置していることが判明した。また今回実施した当該地の現地踏査では土器や石器などの遺物は発見されなかった。しかし、平成12年度に豊受神社の西側に近接する朝比奈氏墓地にある朝比奈三郎の墓と伝わる宝篋印塔の調査をしていた調査員が、豊受神社周辺の水田で鎌倉時代の山茶碗の底部破片を採集したことから、周知の埋蔵文化財包蔵地である「豊受神社北遺跡」として登録された。

豊受神社北遺跡については、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

平成28年5月26日付で豊受神社代表役員より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」と土地占有者としての「埋蔵文化財発掘調査承諾書」の提出があったことから、平成28年6月8日付御教社第71号で、御前崎市教育委員会教育長 篠田暁美より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法99条の1に基づく「発掘調査について」を送付した。

平成28年6月9日に豊受神社駐車場造成工事予定地に約1m×2.5mの試掘坑を2箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

(2) 位置と環境

豊受神社北遺跡は牧ノ原台地の南端を開析して南流する朝比奈川上流左岸の丘陵裾に立地し、豊受神社の北側一帯に位置している鎌倉時代の遺跡である。豊受神社北遺跡の周辺には、弥生時代から鎌倉時代までの複合遺跡である南谷遺跡や、縄文時代晩期と弥生時代後期から古墳時代の複合遺跡である小泉遺跡が所在している。特に南谷遺跡からは、鎌倉時代の住居跡が3軒確認されている。

(3) 調査概要

① 調査方法

試掘調査は、豊受神社北側の水田の北西側と北東側の2箇所を試掘坑を設定して、試掘調査を実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホー0.15級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した(基本層序については②のとおりである)。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

② 基本層序(第2図)

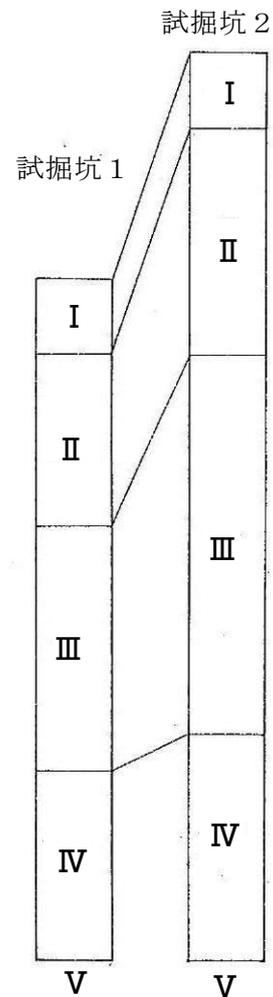
- | | | |
|------|----------|------------------------------------|
| I層 | 暗褐色土(表土) | 旧水田の耕作土。 |
| II層 | 褐色粘土層 | 旧水田の床土で、橙色の縦長の管鉄が多量に混入。保水性有。 |
| III層 | 暗青色粘土層 | 柔らかく粘性が強い。下部に行くにつれて、暗くなる。粘性有。保水性有。 |
| IV層 | 明褐色粘土層 | 青色粘土に基盤層の褐色土が多量に混入。しまり有。粘性有。 |
| V層 | 褐色泥岩層 | 相良層群相良互層と思われる。 |

(4) まとめ

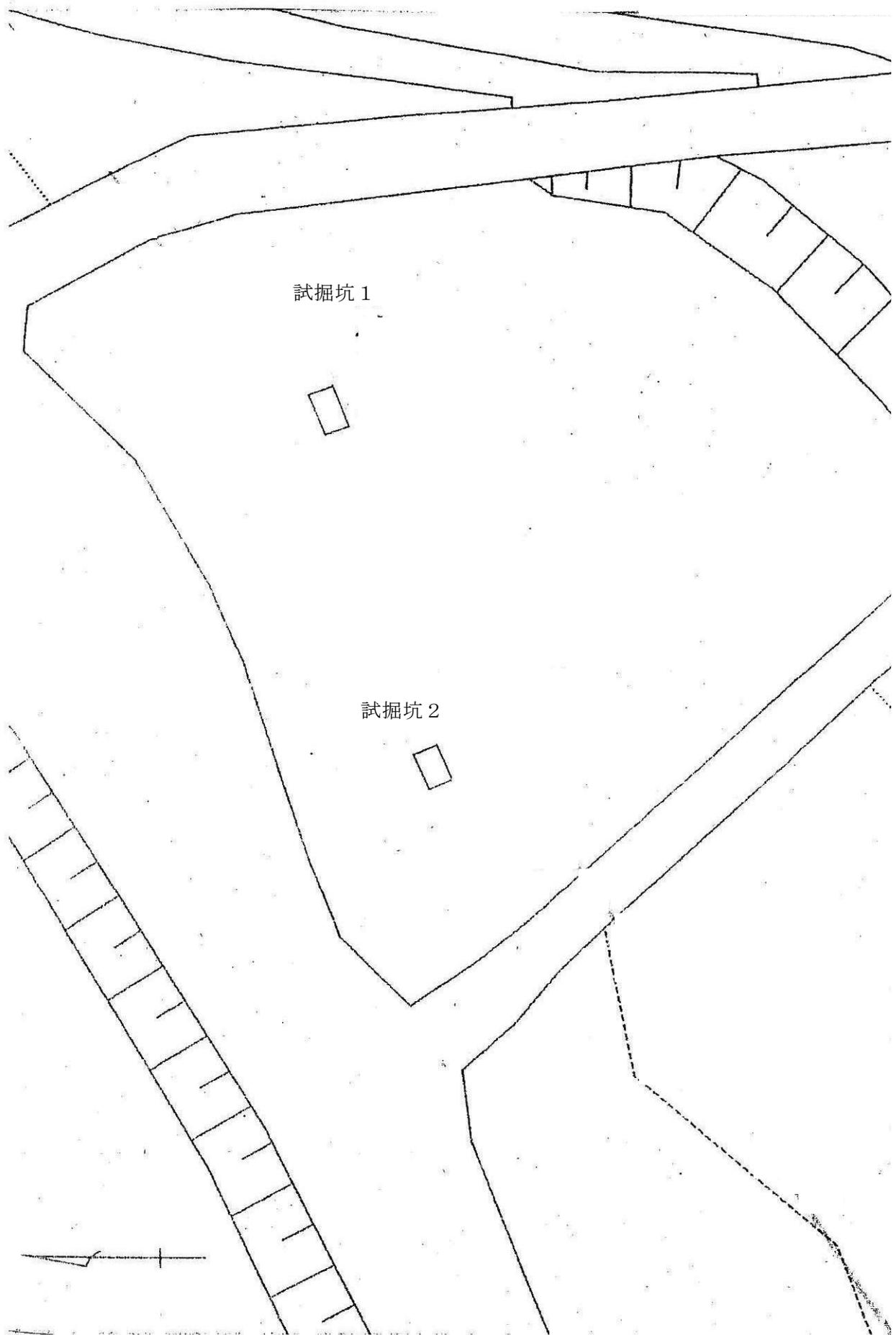
今回の試掘調査では、豊受神社北遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵地に計画された、豊受神社駐車場造成工事予定地に試掘坑を2箇所設定して試掘調査を実施した。両試掘坑とも遺物が出土しなかった。

試掘坑1・2の土層は、I層が旧水田面で、II層がその床土にあたり、III層とIV層についても攪乱がなくプライマリーな粘土層であるが、遺物包含層は検出されなかった。

豊受神社北遺跡から以前に遺物が採集されたのは、今回の調査地点よりもっと朝比奈氏墓地に近い水田からである。そのため、今回の試掘調査箇所周辺には、遺跡が所在している可能性が低いと考えられる。



第2図 土層柱状図(S=1/20)



第3図 豊受神社北遺跡試掘調査試掘坑位置図



1 試掘調査前風景



2 試掘坑1掘削風景



3 試掘坑1掘削風景



4 試掘坑1土層断面



5 試掘坑2掘削風景



6 試掘坑2掘削風景



7 試掘坑2土層断面

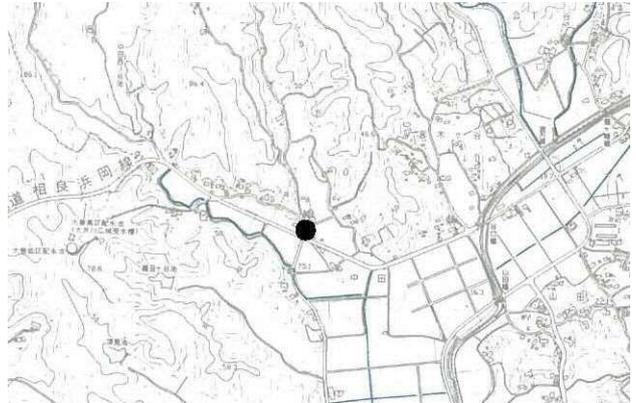


8 試掘坑2埋め戻し風景

写真3 豊受神社北遺跡試掘調査写真

3 中田西ノ谷遺跡試掘調査報告書

所在地	御前崎市比木字中田 西ノ谷 4305 番 1
調査主体者	御前崎市教育委員会
調査担当者	社会教育課 村本 薫
調査面積	2.4 m ² (試掘坑 1 箇所)
確認調査期間	平成 28 年 9 月 9 日
調査目的	個人専用住宅建替工事に伴う 試掘調査



第 4 図 遺跡の位置(1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

平成 28 年 8 月 26 日付で土地所有者より、個人専用住宅建替工事予定地(以下、当該地という。)における、文化財の所在有無について照会があった。

それに基づき、照会のあった当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である中田西ノ谷遺跡に位置していることが判明した。また今回実施した当該地の現地踏査では土器や石器などの遺物は発見されなかった。

中田西ノ谷遺跡は、昭和 44(1969)年に箴川の改修工事が行われた際に古墳・奈良・平安時代の遺物が出土したことから、周知の埋蔵文化財包蔵地として登録されたと思われる。しかし、当該地は、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包蔵層の深さや遺跡の時代等を把握するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

平成 28 年 8 月 26 日付で土地所有者より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」と土地占有者としての「埋蔵文化財発掘調査承諾書」の提出があったことから、平成 28 年 9 月 6 日付御教社第 152 号で、御前崎市教育委員会教育長 篠田暁美より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

平成 28 年 9 月 9 日に個人専用住宅建替工事予定地周辺に、2 m×1.2m の試掘坑を 1 箇所設定し、包蔵層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

(2) 位置と環境

中田西ノ谷遺跡は、牧ノ原台地の南端を開析して南流する箴川中流右岸の沖積低地に立地する古墳・奈良・平安時代の遺跡である。中田西ノ谷遺跡の周辺には、弥生時代から鎌倉時代までの遺物散布地である中田東ノ谷遺跡や薩田ヶ谷口遺跡が所在している。これらの沖積低地に所在する遺物散布地は古墳時代から古代の集落遺跡である可能性が高い。

また、これらの沖積低地に所在する遺物散布地の遺跡周辺には、御前崎市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」をはじめ、中田西ノ谷横穴群、押越横穴群、深見西横穴群、深見東横穴群などの多くの古墳時代後期から奈良時代前期の横穴墓が所在している。

(3) 調査概要

① 調査方法

試掘調査は、土地所有者の専用住宅建替工事予定地である、現在居住している住宅の庭の一部に、2×1.2mの試掘坑を1箇所設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホー0.15級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した(②のとおりである)。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

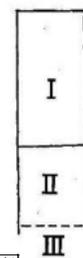
② 基本層序(第2図)

- | | | |
|------|----------|----------------------------------|
| I層 | 黒色土層(表土) | やわらかくもろい。レンガの破片や2~30mm程の礫が多量に混入。 |
| II層 | 褐色砂岩層 | やわらかく粘性有。明褐色砂岩層にI層の黒色土が少量混入する。 |
| III層 | 明褐色泥岩層 | 相良層群比木互層の泥岩層と考えられる。 |

(4) まとめ

今回の試掘調査では、中田西ノ谷遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵地内に計画された、個人専用住宅建替工事予定地に試掘坑を1箇所設定して試掘調査を実施した。地山の相良層群比木互層まで地表面32cm程しかなく、遺物は皆無であった。

試掘坑1・2の土層は、I層が表土で、II層が相良層群比木互層の砂岩層、III層が相良層群比木互層の泥岩層と考えられる。橋山邸の北側には丘陵があり、丘陵の裾部を掘削して現在の住宅が建てられている。そのため、今回の試掘調査箇所周辺には、遺跡が所在している可能性が低いと考えられる。



第5図
土層柱状図(S=1/10)

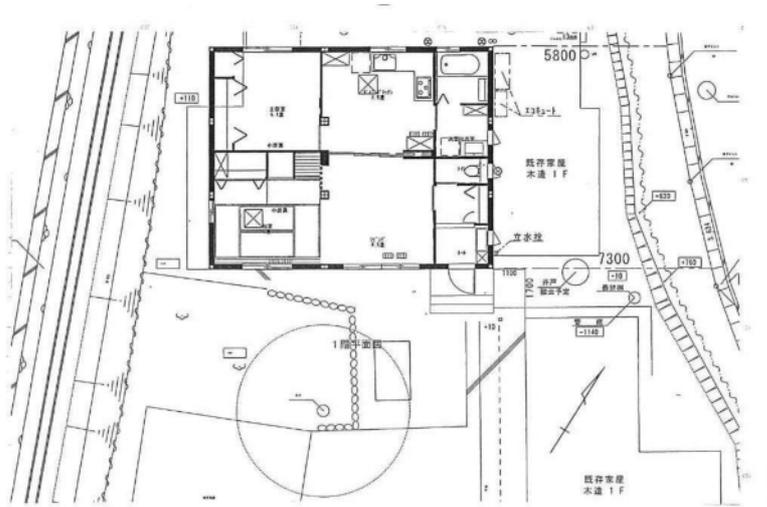


1 試掘調査前風景



2 試掘坑1掘削風景

写真4 中田西ノ谷遺跡試掘調査写真



第6図 中田西ノ谷遺跡試掘調査位置図

S=1/200



1 試掘坑1 掘削風景



2 試掘坑1 完掘状況



3 試掘坑1 土層断面1

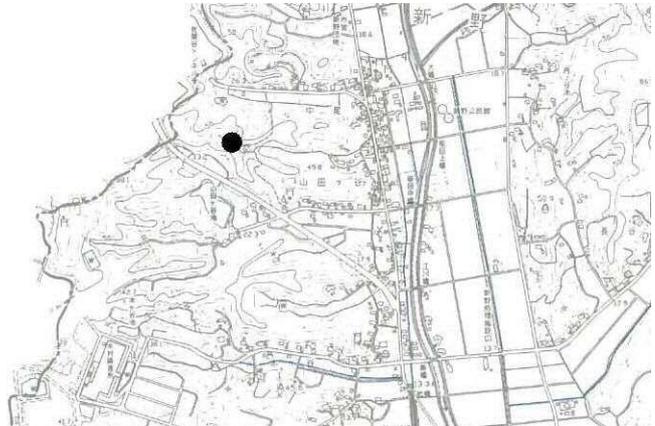


4 試掘坑1 土層断面2

写真5 中田西ノ谷遺跡試掘調査写真

4 釜原城跡確認調査報告書

所在地	御前崎市新野 1589-1、 1590-1・1590-7
調査主体者	御前崎市教育委員会
調査担当者	社会教育課 村本 薫
調査面積	50.82 m ²
確認調査期間	平成 29 年 2 月 13～22 日
調査目的	保存目的の確認調査



第 7 図 遺跡の位置(1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

平成 29 年 4 月より、新野地区の新野左馬助公顕彰会や地元の中尾殿之谷地区において、釜原城跡の本曲輪に桜を植樹することが計画された。

釜原城跡の本曲輪を掘削するわけではないが、桜の根により遺構が壊される可能性もあることから、御前崎市教育委員会では、釜原城跡の本曲輪における遺構の残存状況や遺物包含層の深さ等を確認するための確認調査を実施することとした。

平成 29 年 2 月 2 日に土地所有者の承諾を得て、平成 29 年 2 月 7 日付けで静岡県教育委員会教育長に「発掘調査について」を提出し、文化財保護法第 99 条に基づいて、平成 29 年 2 月 13 日から確認調査を実施した。

(2) 位置と環境

釜原城跡は、新野川中流域右岸の丘陵に立地している。新野字中西・坂田に所在しており、菊川氏高橋の佐栗谷から新野中尾・山田ヶ谷集落にまたがる河東山の東端丘陵部の標高 66m、比高 44m の本曲輪を中心に遺構が展開している。地元ではこの丘陵部を釜原と言っていることから城名となっている。城跡は、東西約 250m、南北は狭く約 60m。本曲輪は東西約 50m、南北約 30m で本曲輪の西側は「仏念」と呼ばれる急峻な崖となっている。本曲輪の北西と西に土塁跡らしい痕跡があり、本曲輪の東側にも平場が認められる。本曲輪から北側に延びる尾根には、腰曲輪や堀切が配置されている。本曲輪の西側には、狭くて長い鞍部を経て出曲輪と結ばれている。城跡の東裾には「殿之谷」という地名があり、釜原城の城主の居館があったとの伝承がある。全体として、谷地形をうまく利用した造りとなっていて、堀切は少ない。

(3) 調査概要

① 調査方法

確認調査は、釜原城跡の本曲輪部分の現在の茶畑の通路部分に 36.3m×1.4m のトレンチを 1 本設定して実施した。

トレンチの表土の掘削は、主に重機(バックホー0.15 級)を使用して実施した。トレンチの表土掘削終了後、精査を行ったところ遺物包蔵層は検出されず、溝状遺構が 2 条検出された。

検出された溝状遺構の掘削作業を行い、完掘後写真撮影を実施した。その後、遺構の平面図を 1/20 で作成した。その後、南壁の土層断面図を作成した(基本層序については③のとおりである)。トレンチの位置図を作成した後、器材等を撤収して確認調査を終了し、重機によりトレンチの埋め戻しを行った。

② 調査経過(平成 29 年)

- 2 月 13 日 釜原城跡の本曲輪中央部にトレンチを設定し、重機で表土を除去。その後、トレンチの精査を人力で行う。
- 2 月 14 日 トレンチの精査を行った結果、溝状遺構が 2 条検出された。これらの溝状遺構の発掘作業を実施した。
- 2 月 15 日 溝状遺構の発掘作業の実施し、完掘した。
- 2 月 16 日 溝状遺構の完掘状況の精査を行い、写真を撮影した。また、それぞれの溝状遺構のベルトの土層断面図を作成した。
- 2 月 17 日 トレンチ南壁の土層断面図の作成を行った。
- 2 月 22 日 午前中にトレンチ南壁の土層断面図の作成を実施して完了した。その後、トレンチを用いて埋め戻し、機材を撤収してすべての確認調査が終了した。

③ 基本層序(第 10 図)

- I 層 灰褐色土(表土) 軟らかくもろい。1~10cm 大の礫が多量に混入。
- II 層 黒褐色土層 固く締まりあり。1~10cm 大の礫が少量混入。
- III 層 明褐色粘土層 地山の黄褐色土に II 層の黒褐色土が多量に混入。しまりが有り、1~2cm 大の礫が少量混入する。

④ 遺構について

ア 第 1 号溝状遺構

第 1 号溝状遺構は、北西-南東方向に細長いトレンチの北西側で検出された。覆土には II 層の土が混入している。東西方向に延びており、東端で南側に屈曲している。第 1 号溝状遺構は、西側及び東端で屈曲した溝状遺構の南端が調査区外に更に延びていることから、全体の計上や規模は不明である。長軸方向は N-110°-W で、検出部分の長さは 10m、最大幅 1.4m、最大深さ 20cm を測る。覆土は II 層の黒褐色土層である。

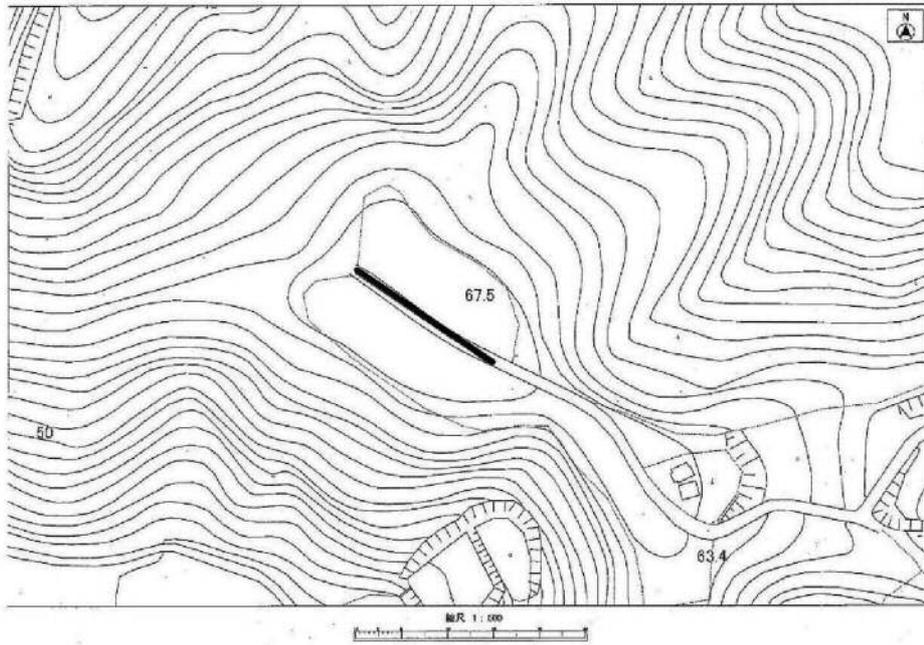
イ 第 2 号溝状遺構

第 2 号溝状遺構は、北西-南東方向に細長いトレンチの南東側で検出された。覆土には II 層の土が混入している。東西方向に延びており、西端で北側に屈曲している。第 2 号溝状遺構は、東側及び西端で屈曲した溝状遺構の北端が調査区外に更に延びていることから、全体の計上や規模は不明である。長軸方向は N-118°-W で、検出部分の長さは 14m、最大幅 0.8m、最大深さ 50cm を測る。覆土は II 層の黒褐色土層である。

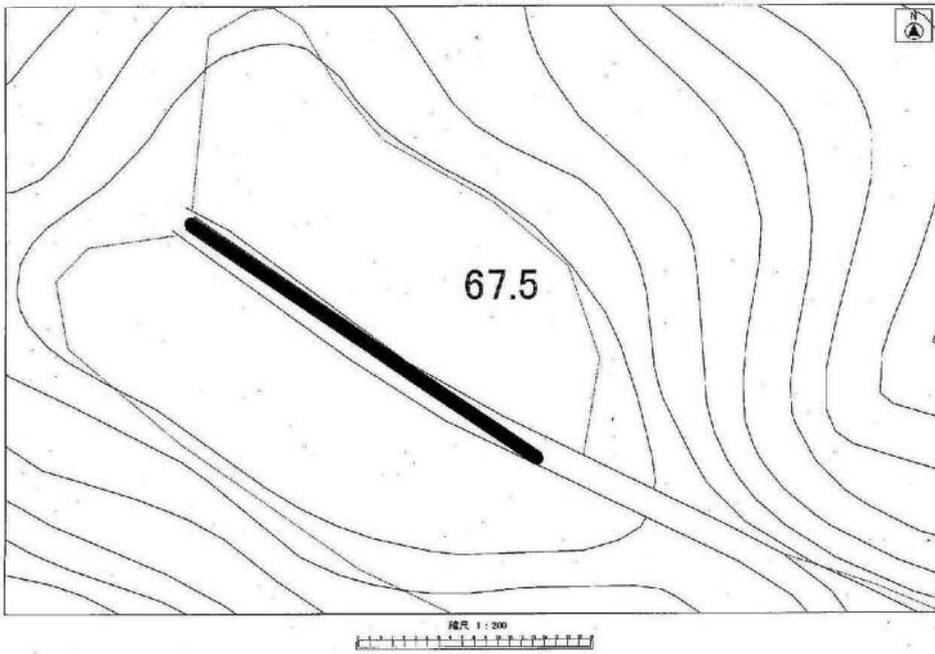
(4) まとめ

今回の確認調査で検出された遺構は、溝状遺構 2 条のみである。出土遺物は皆無である。覆土は上層の II 層が混入していることから、明治時代以降に茶畑の開墾がされた時に、茶畑を区画するための溝として掘られたものと推測される。

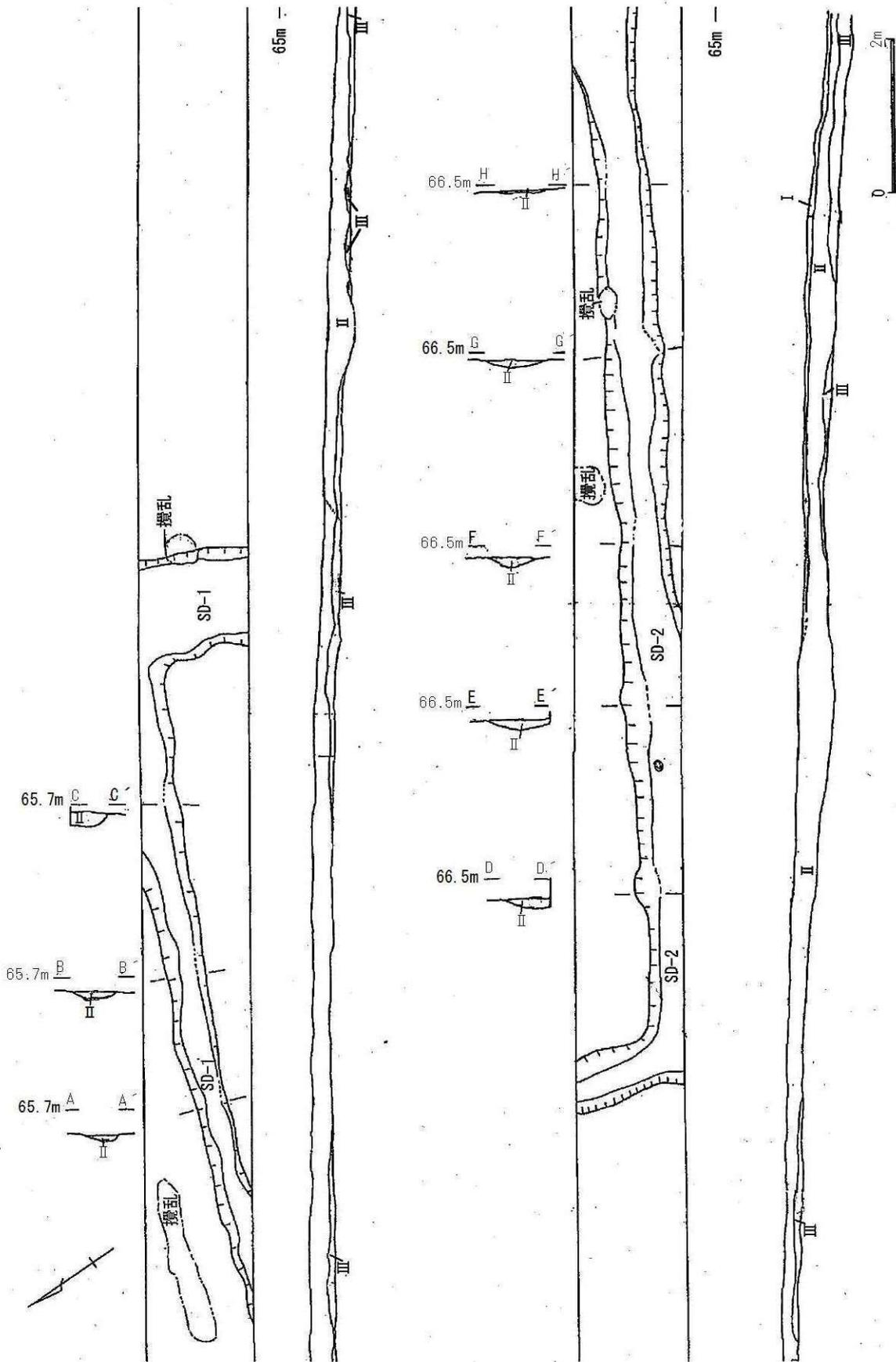
したがって、明治時代以前にあった遺構は検出されなかった。そのことから、釜原城跡の戦国時代以前の中世の遺構は、明治時代以降の茶畑の開墾の際に天地返し等により消失してしまったのではないかとと思われる。



第8図 釜原城跡確認調査トレンチ位置図



第9図 釜原城跡確認調査トレンチ配置図



第 10 図 釜原城跡確認調査トレンチ内の遺構実測図



1 確認調査区の設定状況



2 確認調査区の掘削及び精査作業風景



3 確認調査区の精査作業風景



4 溝状遺構 1・2の精査作業完了



5 溝状遺構 1の完全状況

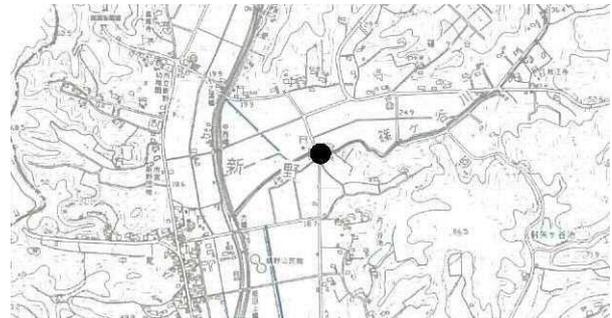


6 溝状遺構 2の完全状況

写真 6 釜原城跡確認調査 1

5 幡室遺跡試掘調査報告書

所在地	御前崎市新野 4415-1
調査主体者	御前崎市教育委員会
調査担当者	社会教育課 村本 薫
調査面積	24.5 m ² (試掘坑 1 箇所)
確認調査期間	平成 29 年 3 月 23 日
調査目的	個人専用住宅新築工事に伴う試掘調査



第 11 図 遺跡の位置(1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

平成 29 年 3 月 7 日付で土地所有者より、個人専用住宅新築工事予定地(以下、当該地という。)における、文化財の所在有無について照会があった。

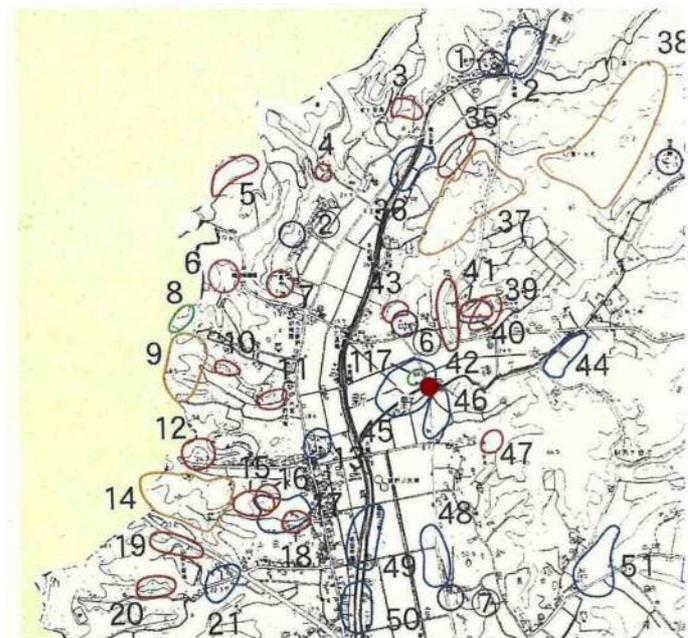
それに基づき、照会のあった当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、今回実施した当該地の現地踏査では地表面から土器や石器などの遺物は発見されなかった。しかし、当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である幡室遺跡に位置していることが判明した。

幡室遺跡は、平成 10 年に菊川左岸用水路改修工事の事前に教育委員会社会教育課の文化財担当職員が現地踏査を行い付近の田から土師器などの土器片を採取した。また、地形的にも微高地になっていることから、集落遺跡などの存在が想定されたことから、試掘調査を実施したところ小穴や溝状遺構などの遺構や弥生時代後期末から古墳時代初頭の土器や、古墳時代後期の土師器と須恵器、鎌倉時代の山茶碗が発見されたことから、周知の埋蔵文化財包蔵地として登録された。

しかし、当該地は幡室遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵地の東端近くに位置しており、以前に試掘調査や確認調査した場所から離れているため、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代等の内容を確認するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

平成 29 年 3 月 7 日付で土地所有者より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」が、土地占有者より「埋蔵文化財発掘調査承諾書」の提出があったことから、平成 29 年 3 月 23 日付御教社第 289 号で、御前崎市教育委員会教育長篠田暁美より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

平成 29 年 3 月 23 日に個人専用住宅新築工事予定地周辺に、3 m×1.5 m の試掘坑を 1 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。



第 12 図 幡室遺跡周辺の遺跡地図
● 遺跡の位置(S=1/25,000)

(2) 位置と環境(第 12 図)

幡室遺跡は、牧ノ原台地の南端を開析して南流する新野川の東を、支流である篠ヶ

表1 幡室遺跡周辺遺跡地名表

番号	遺跡名	時代	種別	所在地	地目	備考
2	有ヶ谷遺跡	古墳～鎌倉	散布地	有ヶ谷	山林、畑	
3	小雀ヶ谷横穴群	古墳	横穴	有ヶ谷	山林、荒蕪地	基数不明
4	宮田横穴群	古墳	横穴	宮田	山林	1基開口
5	山西横穴群	古墳	横穴	山西	山林	1群2基
6	竜源寺跡	戦国	廃寺	中西	山林	
7	新野氏墓地	中世	墓地	中西	境内地、山林、田	
8	天ヶ谷古墳	古墳	古墳	中西	山林	大型円墳
9	高橋城跡	中世	城館	中西	山林、畑、荒蕪地	天ヶ谷の城平
10	西ノ谷西横穴群	古墳～奈良	横穴	中西	山林	1群4基
11	西ノ谷東横穴群	古墳	横穴	中西	荒蕪地	1基
12	中西横穴群	古墳	横穴	中西	山林	3群10基
13	中尾八幡遺跡	縄文・古墳・奈良	散布地	中西	畑、公園	
14	釜原城跡	中世	城館	中西・坂田	山林、畑	
15	中尾横穴群	古墳	横穴	坂田	山林	1群3基
16	釜原墓地	中世	墓地	坂田	山林、荒蕪地	
17	中尾殿之谷遺跡	平安・鎌倉	散布地	坂田	宅地、田	
18	中尾殿之谷横穴群	古墳	横穴	坂田	宅地	1群7基
19	山田ヶ谷北横穴群	古墳	横穴	坂田	山林	2基
20	山田ヶ谷南横穴群	古墳	横穴	坂田	山林	2群3基
21	山田ヶ谷遺跡	弥生・奈良	散布地	坂田	田、畑	
35	有ヶ谷墳墓群	中世	墓地	有ヶ谷	山林、畑	
36	天王神社東遺跡	古墳・平安・鎌倉	散布地	有ヶ谷	田、畑、神社境内地	
37	舟ヶ谷城山	中世	城館	有ヶ谷・篠ヶ谷	山林	
38	八幡平城跡	中世	城館	有ヶ谷・篠ヶ谷	山林	
39	篠ヶ谷東墓地	中世	墓地	篠ヶ谷	宅地、山林、畑	
40	篠ヶ谷遺跡	古墳・奈良・鎌倉	散布地	篠ヶ谷	宅地、荒蕪地、畑	
41	舟ヶ谷横穴群	古墳	横穴	篠ヶ谷	畑	1群2基
42	篠ヶ谷西墓地	中世	墓地	篠ヶ谷	荒蕪地、畑、山林	石塔群有
43	殿ノ平横穴群	古墳	横穴	篠ヶ谷	山林	2群3基
44	篠ヶ谷ヒラシロ遺跡	古墳・鎌倉	散布地	篠ヶ谷	田	
45	幡室遺跡	弥生～鎌倉	集落	大明神	田畑、神社境内地	
46	政所遺跡	平安	散布地	政所	田	
47	長ヶ谷横穴群	古墳	横穴	長ヶ谷	山林	1群4基
48	十二僧御用田遺跡	古墳・奈良・中世	散布地	御用田	田、畑	
49	新野川北遺跡	古墳～鎌倉	散布地	御用田・坂田	田、畑、宅地	
50	新野川南遺跡	古墳～鎌倉	散布地	御用田・根地	田、畑、宅地	
51	長ヶ谷遺跡	鎌倉	散布地	長ヶ谷	田、宅地	

※所在地の大字はすべて新野

谷川が北東から南西方向に流下している。野川と篠ヶ谷川の合流地点から 300m ほど上流の篠ヶ谷川流域の牧ノ原台地から延びた尾根の末端部分にあたる微高地上に位置している。

新野地区には、古墳時代の横穴群が 19 群 44 基以上が確認されている。幡室遺跡の位置する新野川左岸には、幡室遺跡の北側の丘陵の中腹に殿ノ平横穴群(43)が位置している。また、幡室遺跡から 400m ほどの位置に、舟ヶ谷横穴群(41)の 1 群 2 基、長ヶ谷横穴群(51)の 1 群 1 基の所在が確認されている。さらに、新野川右岸には、発掘調査が行われた西ノ谷横穴群、中尾殿之谷横穴群をはじめ数多くの横穴群が存在している。

古墳時代の集落遺跡や遺物散布地としては、篠ヶ谷ヒラシロ遺跡(44)、十二僧御用田遺跡(48)、篠ヶ谷遺跡(40)、新野川北遺跡(49)・新野川南遺跡(50)などの存在が知られているが、今まで本格的な発掘調査が行われていない。

(3) 調査概要

① 調査方法

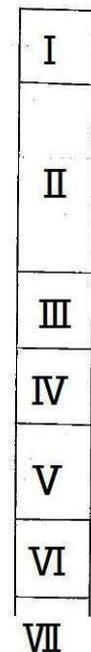
試掘調査は、土地所有者の個人専用住宅建替工事予定地に隣接する箇所にて 3 m × 1.5 m の試掘坑を 1 箇所設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホー0.25 級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した。土層の内容については②の基本層序のとおりである。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

② 基本層序

- | | | |
|-----|-----------|---------------------------------------|
| I | 褐色土層(客土) | 表土で固くしまり有。盛土層。 |
| II | 褐色礫層(客土) | 2～10cm 大の礫で構成される。 |
| III | 暗褐色粘土層 | 保水性有。軟らかく粘性有。 |
| IV | 明灰褐色粘土層 | 保水性有。軟らかく粘性有。 |
| V | 褐色粘土層 | 保水性有。軟らかく粘性有。 |
| VI | 暗灰色砂利層 | 固くしまり有。1～15cm 大の礫のみ構成されており、旧河道と考えられる。 |
| 1. | VII 黒色粘土層 | 上層から古墳時代や鎌倉時代の遺物が出土。軟らかく粘性有。 |



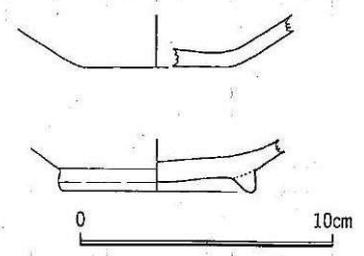
第 13 図 (S=1/20)
試掘坑 1 (北壁) 柱状図

④ 包含層の出土遺物について(第 14 図)

遺物は試掘坑 1 の VI 層の黒色粘土層のみから出土した。出土遺物は、コンテナ 1 箱分ですべて土器類である。

遺物は、1 の古墳時代の土師器の埴と推測される底部破片や 2 の鎌倉時代の山茶碗が出土している。

1 の古墳時代の土師器の埴は、推定底径 5.8cm、器表面は磨滅しており、調整等は不明である。2 の鎌倉時代の山茶碗は、底径 7.8cm で回転糸切りののち高台が付けられている。色調は灰色で東遠産である。時期は松井編年(1993)の II 期に相当し 12 世紀後半の製品である。



第 14 図
試掘坑 1 出土遺物実測図

(4) まとめ

今回の試掘調査では、土地所有者の個人専用住宅建替工事予定地周辺に、試掘坑 1 を 1 箇所を設定して試掘調査を実施した。その結果、古墳時代と鎌倉時代の土器類が出土した。

遺物が出土したのは、試掘坑 1 の VI 層の暗灰色砂利層の下層である VII 層の黒色粘土層である。VI 層の暗灰色砂利層の厚さは 20cm で、1～15cm 大の礫のみで構成されており、篠ヶ谷川の旧河道であったと考えられる。15cm 大の礫も含まれていることから、かなり強い流れがある河川であったと思われることから、この層から検出された遺物は、篠ヶ谷川の上流から流れてきたと思われる。今回の調査地点は、幡室遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵地の東端にあたることから、幡室遺跡より上流部に古墳時代や鎌倉時代の集落跡が存在している可能性が高い。

今回試掘調査を実施した幡室遺跡は、新野の沖積低地が大きく幅を広げる地区の最上流部の微高地上にあり、地理的に最も有利な場所を占めている。しかも新野地区でも最も古い集落の一つで、平成 11 年度の確認調査では、通常の農民の建物とは考えられない大型掘立柱が検出されている。こうした点で、この遺跡は新野地区を代表する有力な集落跡であったと想定できる。

今後、今回試掘調査を実施した幡室遺跡をはじめ、新野地区全体の歴史を解明するためには、遺物の詳細分布調査や試掘調査、確認調査等を実施していく必要があると思われる。



1 試掘調査前風景



2 試掘坑 1 掘削風景



3 試掘坑 1 完掘状況



4 試掘坑 1 遺物出土状況

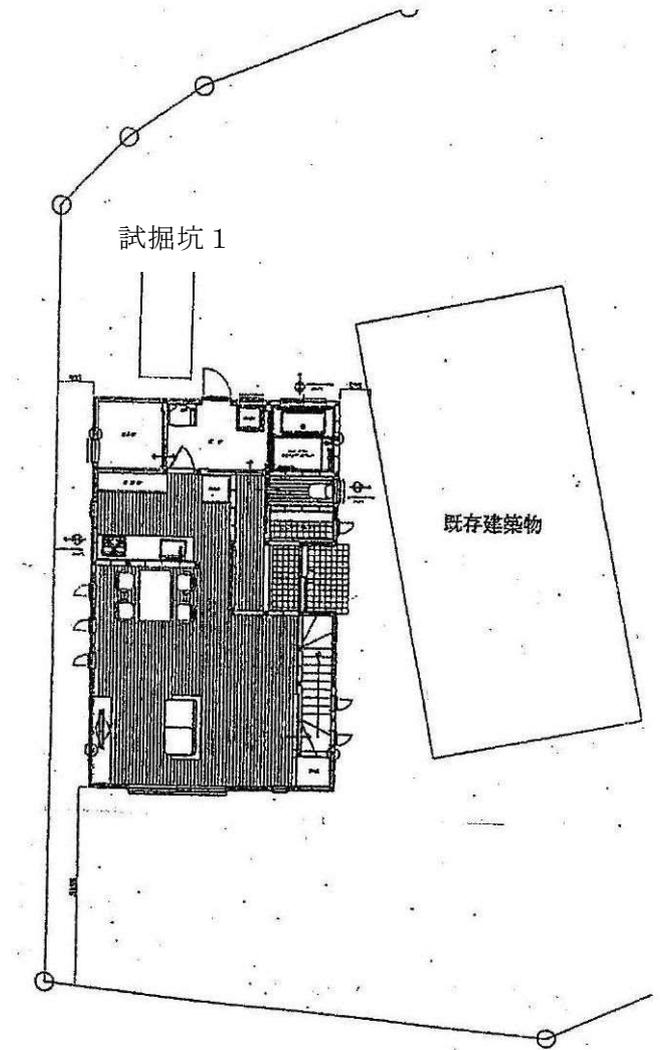
写真 7 幡室遺跡試掘調査 1



1 試掘坑 1 土層断面 1



2 試掘坑 1 出土遺物
写真 8 幡室遺跡遺跡試掘調査



第 15 図 幡室遺跡遺跡試掘調査位置図

6 出土遺物整理事業

市内遺跡の整理作業は、作業員 1 名で昨年度に引き続き、星の糞遺跡から出土した遺物の埋蔵文化財収蔵台帳や埋蔵文化財基本カードの作成を実施した。また、今年度試掘確認調査を実施した釜原城跡の遺構図や幡室遺跡出土資料の整理作業などを実施した。

星の糞遺跡出土遺物の整理作業については、4 月から 9 月まで星の糞遺跡から出土した石器(礫石錘)の整理作業を実施した。

また、10 月～12 月まで南谷遺跡から出土した土器の破片の内、未注記のものについて、注記機械を業者から借用して注記を行った。南谷遺跡の未注記の土器は、当初 182 箱あったが、平成 27 年度に 77 箱、今年度 80 箱分について注記が完了した。残りの 25 箱については、平成 29 年度に再度注記機械を借用して、注記を実施する予定である。

平成 28 年 12 月から平成 29 年 3 月までは、星の糞遺跡から出土した石器(礫石錘)の整理作業の続きを実施した。

II 文化財保護・管理

1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

(1) 調査報告

① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。また、海岸の砂に砂鉄が混ざっていたり、肥料(糞)の流出、ビニール類、ペットボトル等の生活ゴミ、流木等が散乱していたりと、依然として産卵するウミガメにとっては厳しい状況である。浜岡地区の海岸についても、御前崎海岸ほどでないが、アカウミガメが上陸し、産卵をしている。

平成28年度においては、アカウミガメの上陸頭数・産卵個数・ふ化率の全てが昨年を上回り、ほぼ平均の水準まで持ち直した。平成24年度よりウミガメの上陸頭数及び産卵数が減少傾向であり、特に昨年は過去最低水準であったため減少に歯止めがかかったといえる。

しかし、この増減の原因は環境の変化なのか産卵周期に起因するかなどはわからないため、減少傾向に歯止めがかかるよう引き続き保護活動に力を入れていきたい。

② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された7名(御前崎海岸4名・浜岡海岸3名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(大澤 茂美)
第2区	元	根	から	芹	沢 (澤部 春市)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(澤部 春市)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(鈴木 紀捷)
第5区	尾	高	から	箆	川 (高田 正義)
浜6区	新野川	から	本町・中町の境		(中田 豊)
浜7区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(早馬 彰夫)
浜8区	七つ山・塩原の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視
- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

④ 平成 28 年度ウミガメ保護監視員及び事務局活動記録

- ・ウミガメ保護監視員（7名）による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（10月31日まで）
- ・産卵・放流観察会
- ・ふ化場地温計データ採取

< 4 月 >

18 日 ウミガメ保護監視員会議

< 5 月 >

- 2 日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）
- 12 日 ウミガメ保護監視業務委託契約（5/12～3/14）
- 13 日 転地返し・子亀供養祭
- 15 日 ウミガメ保護活動開始
- 25 日 国指定天然記念物アカウミガメ初上陸（御前崎2区 灯台下）
- 28 日 国指定天然記念物アカウミガメ初産卵（浜岡3区 塩原 117個）

< 7 月 >

24～31 日 ウミガメ産卵観察会（参加者延べ900名）実施7日間 期間中上陸確認1頭

< 8 月 >

- 6 日 ウミガメ初ふ化【6/1 灯台下 産卵分】（ふ化47頭/63個）※最終集計ふ化総数
- 25 日 子ガメ放流観察会（さくらこども園）130名参加
- 29 日 子ガメ放流観察会（北こども園）中止
- 30 日 子ガメ放流観察会（御前崎こども園・白羽幼稚園）中止
- 26～28 日 一般子ガメ放流観察会（参加者延べ170名）

< 9 月 >

- 3 日 子ガメ放流観察会（浜岡黒潮サッカースポーツ少年団）169名参加
- 16 日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）
- 30 日 アカウミガメふ化場啓発看板の撤去設置

< 11 月 >

22 日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

< 3 月 >

21 日 ウミガメ保護監視員視察研修（あわしまマリンパーク）

⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

平成 28 年度は、例年並の上陸頭数で、181 頭が御前崎地区で確認された。産卵状況について数年間減少傾向にあり、過去最低水準となった平成 27 年度と比較すると、上陸・産卵期間ともに大きな変化はないものの、上陸頭数と産卵頭数、また産卵個数も更に大幅に増加した。この理由については、気象状況によるものなのか、もしくはウミガメの産卵周期に振れ幅があることに起因しているのか、その他の影響によるものなのか不明である。昭和 48 年以降の上陸状況経年変化に関する過去の調査データによれば、4 年以上続けて上陸頭数が減少傾向となった例はない。今年度は減少傾向が 3 年続いた次の年に当たるため、統計の傾向に準拠し、昨年度と比較して増加傾向となった。しかし、増減の変化が毎年大きいため、次年度以降の傾向に不安が残り、今後の動向に注視する必要がある。

平成 28 年度の巡視区域ごとの上陸状況を見ると、181 頭中、第 1 区が 72 頭 (39.78%) と最も多く、次いで第 4 区が 50 頭 (27.62%) となっており、その次が第 3 区 27 頭 (14.92%)、第 2 区 24 頭 (13.26%)、第 5 区 8 頭 (4.42%) が最も少ない状況である。

産卵状況を見ると、第 1 区が 72 頭の上陸と最も多く、第 5 区は上陸頭数に対する産卵頭数の比率が 75.0% で最も比率が高かった。昨年度第 2 区は、1 頭の産卵も認められなかったが、今年度は 24 頭上陸し 8 頭の産卵があった。第 2 区は、砂を掘ると水が湧くことで産卵に適さず、また、台風で砂浜にあがった流木やゴミが散乱している状態も認められたため、心配されたが、上陸頭数、産卵頭数ともに大きく上昇した。遠州灘側の海岸浸食ほどの箇所も同様に見られているが、その中でも第 2 区は岩礁がむき出しになり、満潮時には護岸堤に波が打ちつけるなど特に酷い状態となっていることも近年急激に産卵頭数が減少した要因の 1 つであると考えられる。また、わずかに残った浜も砂ではなく礫によって形成されており、数値に表れているように産卵地としては適さなくなっている。今後の課題として、産卵地としての砂浜の回復が挙げられるが、海岸侵食は全国的な問題となっており、解決策を模索しながらの活動になるであろうと考えられる。このような状況の中、県が 3 区の広沢～東松沢川までの区域に養浜工事を行っており、浜地の侵食防止に期待がかかる。

ふ化状況は、8 月 6 日の初ふ化以降、御前崎・浜岡海岸併せて 11 月 7 日までふ化が見られた。御前崎海岸におけるふ化率は 47.70% で、平成 7 年以降の 20 年間における最低値を記録した昨年に比べ大幅に改善した。ふ化に要した日数は最長が 81 日、最短が 45 日、平均では 57.48 日となっている。また、ふ化率 40% 未満の巣は 31 巣数 (35.54%) となっており、今後の課題として産卵時の巣穴の状況等をより詳細に調査し、原因を解明していくなど、ふ化率を上げる取り組みを行っていききたい。

浜岡海岸のアカウミガメの状況については、過去最低水準であった昨年に比べ上陸頭数及び産卵頭数ともに大幅に改善し、ほぼ平均の水準まで持ち直したと言える。

浜 1 区から浜 3 区の上陸頭数は 77 頭で、その内 37 頭が 4,346 個を産卵した。産卵状況を見ると、浜 1 区及び浜 3 区は約 50% 以上であり、浜 2 区は 37.5% と低かった。浜岡海岸は御前崎海岸に比べ、わずかだが高く砂の堆積状況が良好だと考えられる。ふ化状況は、産卵初日が昨年より 10 日早い 5 月 28 日であった。ふ化初日は昨年より 12 日早く、8 月 6 日に初ふ化があり、10 月 10 日までふ化が見られた。ふ化率は平成 27 年度と比べると 12.01% 減少した 43.25% であった。浜岡海岸においては、上陸数及び産卵数の総数は例年と比べ増加したものの、ふ化率については昨年度より減少した。ふ化に要した日数は最長が 63 日、最短が 45 日、平均では 56.09 日であった。



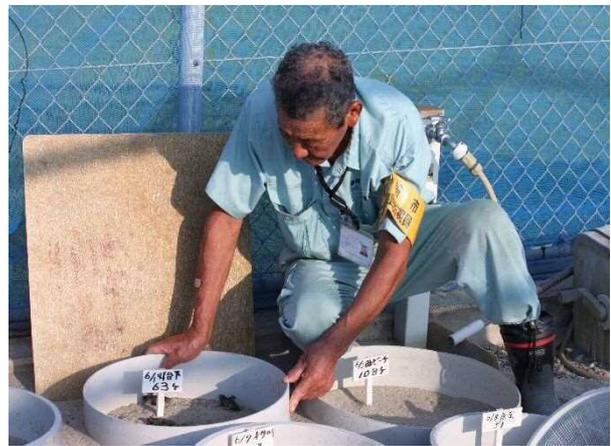
1 ウミガメ保護監視員会議



2 子ガメ供養祭



3 アカウミガメの産卵



4 ふ化巡視



5 子ガメのふ化



6 子ガメ受け入れ式 (御前崎小学校)

写真9 ウミガメ保護活動

表1

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

		(5月分)																	
日	区	1区			2区			3区			4区		5区		合計				
		上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25				1												1			
26																			
27																			
28	1									1						2			
29	1	1	118	1												2	1	118	
30							1	1	69	1						2	1	69	
31	1															1			
月計		3	1	118	2		1	1	69	2						8	2	187	
総計		3	1	118	2		1	1	69	2						8	2	187	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1	1	63				1						2	1	63
2										1						1		
3	2	2	231				1								3	2	231	
4										1	1	115				1	1	115
5																		
6																		
7													1	1	80	1	1	80
8							1			1	1	51				2	1	51
9																		
10										1						1		
11	1	1	61												1	1	61	
12	1														1			
13																		
14	1												1	1	136	2	1	136
15	1			1											2			
16	3	2	203	1	1	153									4	3	356	
17																		
18	1	1	132							2	2	173			3	3	305	
19	1						2								3			
20	1									2	2	220			3	2	220	
21	1			2			1	1	89	2	1	76			6	2	165	
22	1	1	114												1	1	114	
23										1					1			
24	2	2	257							2					4	2	257	
25	1									2	1	128			3	1	128	
26	1														1			
27	1						1			1			2	1	120	5	1	120
28										1	1	132			1	1	132	
29							2	1	108	1	1	78			3	2	186	
30	1						1								2			
月計	20	9	998	5	2	216	9	2	197	19	10	973	4	3	336	57	26	2,720
総計	23	10	1,116	7	2	216	10	3	266	21	10	973	4	3	336	65	28	2,907

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合 計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2							1			1	1	136				2	1	136
3																		
4	1			3	1	144									4	1	144	
5										2	1	59				2	1	59
6	3	3	296												3	3	296	
7							2	1	102	1					3	1	102	
8				1						1	1	98			2	1	98	
9	1	1	105							1	1	97			2	2	202	
10	2														2			
11	3	3	305												3	3	305	
12	1	1	89	1						3	2	242			5	3	331	
13	1	1	134	1	1	117									2	2	251	
14	1	1	121												1	1	121	
15	1	1	130	1											2	1	130	
16							3	1	101						3	1	101	
17	1						1			1	1	107			3	1	107	
18										1					1			
19	1	1	118							1	1	140			2	2	258	
20	1	1	120				1	1	55						2	2	175	
21	1	1	110												1	1	110	
22	3	1	143	2	2	269				2					7	3	412	
23	2	1	130							1	1	113			3	2	243	
24	1	1	94												1	1	94	
25	1						1			1					3			
26	1	1	74	2			1			2	1	113			6	2	187	
27	1			1						4	2	236			6	2	236	
28	1	1	72	1						1			1	1	70	4	2	142
29	1												1		2			
30	1	1	134												1	1	134	
31	1	1	72							1	1	83			2	2	155	
月計	31	21	2,247	13	4	530	10	3	258	24	13	1,424	2	1	70	80	42	4,529
総計	54	31	3,363	20	6	746	20	6	524	45	23	2,397	6	4	406	145	70	7,436

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2	1								1	1	141				2	1	141	
3	2								2	1	117				4	1	117	
4	3	1	106									1	1	86	4	2	192	
5	1	1	133												1	1	133	
6				1			1								2			
7	2	2	240				1								3	2	240	
8																		
9							1								1			
10							1		1	1	93				2	1	93	
11																		
12	1														1			
13				1	1	100									1	1	100	
14				1			1	1	93						2	1	93	
15	1						1								2			
16	1			1	1	92						1	1	120	3	2	212	
17	1														1			
18	2	1	149												2	1	149	
19	1	1	24												1	1	24	
20	2	1	111												2	1	111	
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31							1		1	1	119				2	1	119	
月計	18	7	763	4	2	192	7	1	93	5	4	470	2	2	206	36	16	1,724
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
総計	72	38	4,126	24	8	938	27	7	617	50	27	2,867	8	6	612	181	86	9,160

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備 考
1	5月29日	海藻場	118	8月8日	22		71	18.64%	第1区:夜
				計	22	0			
2	5月30日	広沢	69	8月8日	6		70	50.72%	第3区:朝 第3区:朝 第3区:朝 第3区:夜
				8月9日	24		71		
				8月10日	2		72		
				8月10日	3		72		
				計	35	0			
3	6月1日	灯台下	63	8月6日	8		66	74.60%	第2区:朝(初ふ化) 第2区:夜 第2区:朝
				8月6日	34		66		
				8月7日	5		67		
				計	47	0			
4	6月3日	海藻場	123	8月9日	103		67	85.36%	第1区:朝 第1区:朝
				8月11日	2		69		
				計	105	0			
5	6月3日	西ビ一子	108	計	0	0		0.00%	第1区:
				計	0	0			
6	6月4日	小僧山	115	8月9日	23		66	46.95%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				8月10日	25		67		
				8月11日	6		68		
				計	54	0			
7	6月7日	オサ川	80	8月10日	54		64	67.50%	第5区:朝
				計	54	0			
8	6月8日	薄原	51	計	0	0		0.00%	第4区:
				計	0	0			
9	6月11日	アカガネ	61	8月11日	28		61	49.18%	第1区:朝
				8月12日	2		62		
				計	30	0			
10	6月14日	尾高西	136	8月15日	49		62	36.02%	第5区:夜
				計	49	0			
11	6月16日	灯台下	153	8月16日	90		61	58.82%	第2区:朝
				計	90	0			
12	6月16日	海藻場	129	8月12日	82		57	83.72%	第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜
				8月12日	2		57		
				8月13日	6		58		
				8月13日	7		58		
				8月14日	4		59		
				8月15日	1		60		
				8月16日	1		61		
				8月16日	5		61		
計	108	0							
13	6月16日	海藻場	74	8月15日	1		60	10.81%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝
				8月16日	1		61		
				8月17日	5		62		
				8月19日	1		64		
				計	8	0			
14	6月18日	西ビ一子	132	8月14日	1		57	6.81%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜
				8月15日	1		58		
				8月17日	7		60		
				計	9	0			
15	6月18日	薄原	69	8月20日	23		63	33.33%	第4区:夜
				計	23	0			
16	6月18日	薄原	104	8月15日	86		58	82.69%	第4区:夜
				計	86	0			
17	6月20日	小僧山	113	8月18日	95		59	84.07%	第4区:朝
				計	95	0			
18	6月20日	尾高	107	8月18日	70		59	67.28%	第4区:朝 第4区:夜 第4区:朝
				8月18日	1		59		
				8月19日	1		60		
				計	72	0			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備 考
19	6月21日	薄原	76	8月15日	45		55	67.10%	第4区:朝 第4区:夜 第4区:夜 第4区:朝
				8月15日	2		55		
				8月16日	3		56		
				8月17日	1		57		
				計	51	0			
20	6月21日	広沢	89	8月17日	85		57	95.50%	第3区:夜
				計	85	0			
21	6月22日	アカガネ	114	8月18日	62		57	55.26%	第1区:朝 第1区:朝
				8月21日	1		60		
				計	63	0			
22	6月24日	アカガネ	121					0.00%	第1区:
				計	0	0			
23	6月24日	アカガネ	136	8月17日	16		54	30.88%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜
				8月18日	3		55		
				8月18日	1		55		
				8月19日	1		56		
				8月19日	21		56		
				計	42	0			
24	6月25日	尾高	128	8月21日	1		57	0.78%	第4区:朝
				計	1	0			
25	6月27日	オサ川東	120	8月22日	88		56	75.83%	第5区:夜 第5区:夜 45日後に回収した卵
				8月25日	3		59		
				計	91	0			
26	6月28日	尾高	132	8月19日	78		52	68.93%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:夜 第4区:夜 第4区:朝
				8月20日	4		53		
				8月21日	3		54		
				8月21日	5		54		
				8月22日	1		55		
				計	91	0			
27	6月29日	尾高	78	8月23日	40		55	51.28%	第4区:朝
				計	40	0			
28	6月29日	芹沢	108					0.00%	第3区:
				計	0				
29	7月2日	尾高	136	8月22日	96		51	77.20%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				8月23日	6		52		
				8月28日	2		57		
				9月4日	1		64		
				計	105	0			
30	7月4日	灯台下	144	8月25日	52		52	47.91%	第2区:夜 第2区:朝 第2区:朝
				8月26日	16		53		
				9月4日	1		62		
				計	69	0			
31	7月5日	薄原	59	8月30日	19		56	33.89%	第4区:朝 第4区:朝
				8月31日	1		57		
				計	20	0			
32	7月6日	西ビーチ	57	8月25日	44		50	77.19%	第1区:夜
				計	44	0			
33	7月6日	アカガネ	121	8月25日	100		50	88.42%	第1区:夜 第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜
				8月26日	4		51		
				9月2日	2		58		
				9月5日	1		61		
				計	107	0			
34	7月6日	通り	118	8月27日	53		52	44.91%	第1区:夜
				計	53	0			
35	7月7日	広沢	102	8月25日	86		49	90.19%	第3区:朝 第3区:朝 第3区:朝 第3区:昼
				8月26日	4		50		
				8月27日	1		51		
				8月28日	1		52		
				計	92	0			
36	7月8日	尾高	98	9月1日	47		55	47.95%	第4区:夜
				計	47	0			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
37	7月9日	小僧山	97	8月30日	71		52	73.19%	第4区:朝
				計	71	0			
38	7月9日	西ビーチ	105	8月27日	43		49	41.90%	第1区:夜 第1区:朝
				8月30日	1		52		
				計	44	0			
39	7月11日	西ビーチ	130	8月29日	39		49	30.00%	第1区:夜
				計	39	0			
40	7月11日	アカガネ	89	8月30日	68		50	76.40%	第1区:朝
				計	68	0			
41	7月11日	アカガネ	86	9月1日	43		52	50.00%	第1区:朝
				計	43	0			
42	7月12日	尾高	115					0.00%	第4区:
				計	0	0			
43	7月12日	尾高	127	9月1日	76			59.84%	第4区:夜
				計	76	0			
44	7月12日	アカガネ	89	8月30日	14		49	15.73%	第1区:朝
				計	14	0			
45	7月13日	ドーム下	117	8月30日	98		48	84.61%	第2区:朝 第2区:朝
				9月2日	1		51		
				計	99	0			
46	7月13日	アカガネ	134	9月1日	95		50	75.37%	第1区:夜 第1区:朝
				9月4日	6		53		
				計	101	0			
47	7月14日	通り	121	9月4日	60		52	49.58%	第1区:朝
				計	60	0			
48	7月15日	アカガネ	130					0.00%	第1区:
				計	0	0			
49	7月16日	芹沢	101					0.00%	第3区:
				計	0	0			
50	7月17日	小僧山	107					0.00%	第4区:
				計	0	0			
51	7月19日	通り	118	9月7日	3		50	6.77%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝
				9月12日	3		55		
				9月15日	1		58		
				10月2日	1		75		
				計	8	0			
52	7月19日	薄原	140	9月5日	130		48	92.85%	第4区:朝
				計	130	0			
53	7月20日	通り	120	9月6日	98		48	82.50%	第1区:夜 第1区:朝
				9月10日	1		52		
				計	99	0			
54	7月20日	芹沢	55	9月10日	51		52	92.72%	第3区:夜
				計	51	0			
55	7月21日	通り	110	9月8日	101		49	91.81%	第1区:夜
				計	101	0			
56	7月22日	灯台下	126	9月5日	107		45	85.71%	第2区:夜 第2区:朝
				9月11日	1		51		
				計	108	0			
57	7月22日	灯台下	143	9月8日	2		48	85.31%	第2区:夜 第2区:朝
				9月10日	120		50		
				計	122	0			
58	7月22日	西ビーチ	143	9月6日	89		46	64.33%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜 第1区:夜
				9月9日	1		49		
				9月10日	1		50		
				9月11日	1		51		
				計	92	0			
59	7月23日	薄原	113	9月11日	96		50	84.95%	第4区:朝
				計	96	0			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
60	7月23日	通り	130	9月10日	114		49	89.23%	第1区:夜 第1区:夜 第1区:夜
				9月12日	1		51		
				9月13日	1		52		
				計	116	0			
61	7月24日	通り	94	9月13日	23		51	24.46%	第1区:夜
				計	23	0			
62	7月26日	アカガネ	74	9月11日	63		47	85.13%	第1区:夜
				計	63	0			
63	7月26日	小僧山	113	9月12日	100		48	88.49%	第4区:朝
				計	100	0			
64	7月27日	尾高	117					0.00%	第4区:
				計	0	0			
65	7月27日	尾高	119					0.00%	第4区:
				計	0	0			
66	7月28日	海藻場	72		37			51.38%	第1区:夜
				計	37	0			
67	7月28日	尾高西	70	9月22日	32			45.71%	第5区:朝
				計	32	32			
68	7月30日	海藻場	134	9月18日	49			36.56%	第1区:夜
				計	49	49			
69	7月31日	通り	72	9月19日	58		50	80.55%	第1区:夜
				計	58	0			
70	7月31日	尾高	83	9月15日	65			85.54%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				9月19日	3				
				9月22日	3				
				計	71	71			
71	8月2日	尾高	141	9月19日	103		48	73.04%	第4区:夜
				計	103	0			
72	8月3日	薄原	117	9月21日	50		49	42.73%	第4区:朝
				計					
73	8月4日	通り	106	9月27日	91		54	85.84%	第1区:夜
				計	91	0			
74	8月4日	才サ川東	86	9月21日	73		48	84.88%	第5区:朝
				計	73	73			
75	8月5日	アカガネ	133	9月28日	116			88.72%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:朝
				9月29日	1				
				10月2日	1				
				計	118	118			
76	8月7日	海藻場	146	10月8日	2		62	1.36%	第1区:朝
				計	2	2			
77	8月7日	通り	94	10月12日	12			12.76%	第1区:夜
				計	12	12			
78	8月10日	尾高	93					0.00%	第1区:
				計	0	0			
79	8月13日	灯台下	100					0.00%	第2区:
				計	0	0			
80	8月14日	芹沢	93	10月21日	16		68	18.27%	第3区:夜 第3区:朝
				10月23日	1		70		
				計	17	17			
81	8月16日	灯台下	92					0.00%	第2区:
				計	0	0			
82	8月16日	尾高西	120	10月12日	51		57	59.16%	第5区:朝 第5区:夜 第5区:朝 第5区:朝 第5区:朝 第5区:朝 第5区:
				10月12日	3		57		
				10月14日	1		59		
				10月16日	3		61		
				10月17日	3		62		
				10月23日	1		68		
				11月5日	9		81		
計	71	71							
83	8月18日	海藻場	149	10月23日	60		66	40.93%	第1区:朝 第1区:朝
				10月25日	1		68		
				計	61	61			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

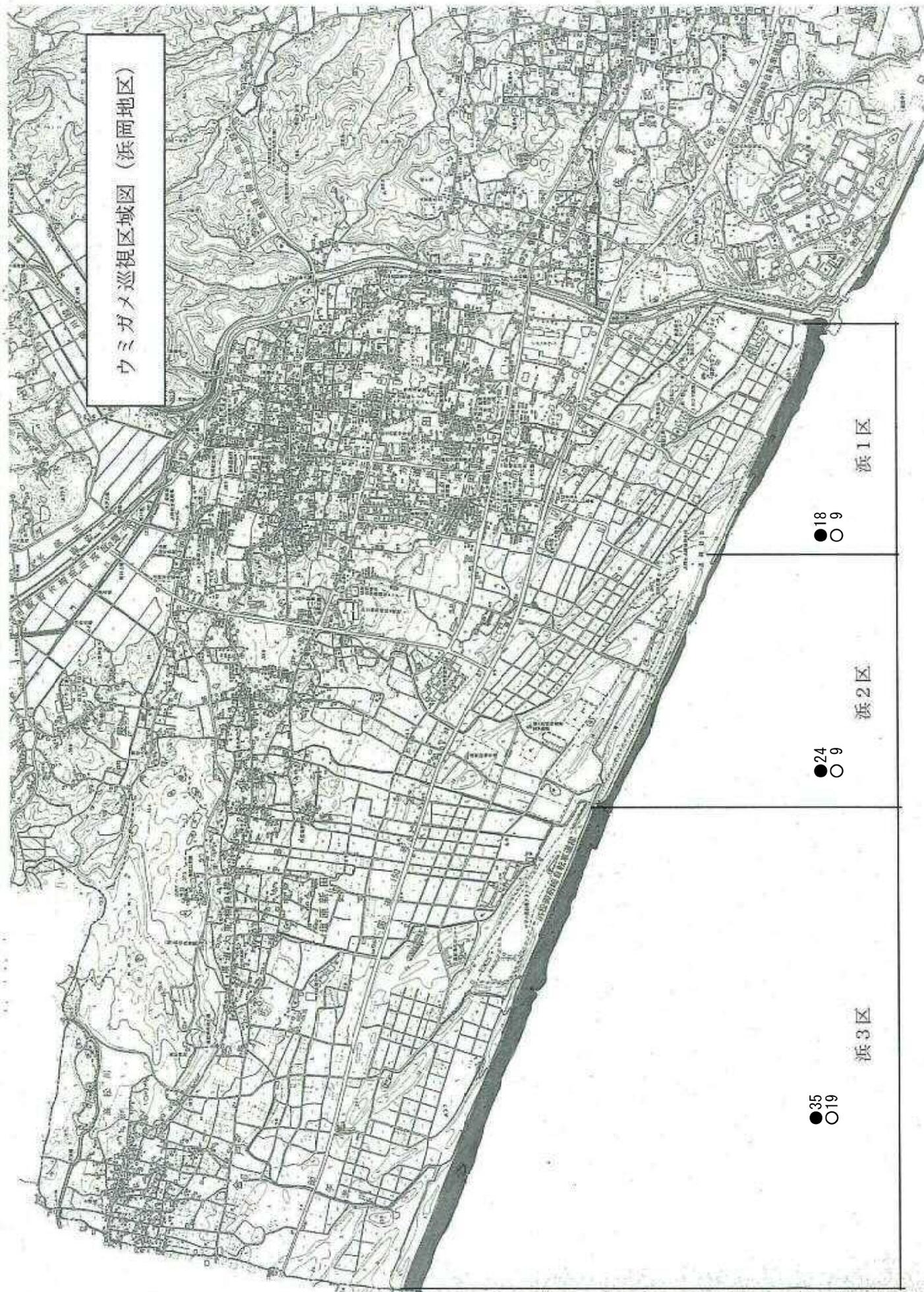
No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備 考
84	8月19日	西ビーチ	24	11月7日	8		80	33.33%	第1区:
				計	8	8			
85	8月20日	通り	111	10月25日	53		66	65.76%	第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				10月25日	3		66		
				10月26日	1		67		
				10月30日	2		71		
				11月4日	14		76		
計	73	73							
86	8月31日	薄原	119					0.00%	第4区:
				計	0	0			
合 計 平 均			9,160		4,369	0	57.48	47.69%	

放流頭数(御小30匹除く)	4,339
0%巢を除いたふ化率	57.86%

最大ふ化率	95.50%
最小ふ化率	1.36%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	5	5.81%	496	5.41%
80%以上90%未満	18	20.93%	2,006	21.90%
70%以上80%未満	8	9.30%	837	9.14%
60%以上70%未満	6	6.98%	649	7.09%
50%以上60%未満	8	9.30%	819	8.94%
40%以上50%未満	10	11.63%	1,098	11.99%
30%以上40%未満	7	8.14%	688	7.51%
20%以上30%未満	1	1.16%	94	1.03%
10%以上20%未満	5	5.81%	468	5.11%
1%以上10%未満	4	4.65%	396	4.32%
0%	14	16.28%	1,609	17.57%
計	86	99.99%	9,160	100.01%

区名	巢数
第1区	38
第2区	8
第3区	7
第4区	27
第5区	6
計	86



第17図 ウミガメ巡視区域図（浜岡）

表 3

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

		(5月分)											
日	区	1 区			2 区			3 区			合 計		
		上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28							1	1	117		1	1	117
29							1				1		
30							1	1	97		1	1	97
31													
月計							3	2	214		3	2	214
総計							3	2	214		3	2	214

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1												
2												
3												
4												
5							1	1	95	1	1	95
6												
7							1	1	81	1	1	81
8				1	1	86	3			4	1	86
9												
10												
11	1						1	1	142	2	1	142
12												
13	1	1	113	1						2	1	113
14												
15												
16												
17												
18							1	1	119	1	1	119
19												
20							2	2	234	2	2	234
21	1									1		
22				1	1	135	1	1	135	2	2	270
23												
24	1			3	1	131				4	1	131
25												
26				1						1		
27				1			1	1	135	2	1	135
28	1	1	139							1	1	139
29				1						1		
30												
月計	5	2	252	9	3	352	11	8	941	25	13	1,545
総計	5	2	252	9	3	352	14	10	1,155	28	15	1,759

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	1	1	103				1	1	105	2	2	208
2				1	1	112				1	1	112
3												
4							1	1	143	1	1	143
5												
6												
7				1	1	123				1	1	123
8				1						1		
9												
10												
11												
12				1						1		
13				1	1	129	1			2	1	129
14	2	1	142				1	1	101	3	2	243
15	2	1	138	1	1	123				3	2	261
16							1			1		
17												
18							1	1	125	1	1	125
19												
20	1	1	102	2						3	1	102
21				1						1		
22							2			2		
23				1	1	90	3	1	101	4	2	191
24							2	1	75	2	1	75
25	1									1		
26												
27												
28				1			1			2		
29	2	1	106				3			5	1	106
30	2	1	145				1	1	146	3	2	291
31												
月計	11	6	736	11	5	577	18	7	796	40	18	2,109
総計	16	8	988	20	8	929	32	17	1,951	68	33	3,868

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

平成28年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1												
2							1	1	90	1	1	90
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11							1			1		
12	1			3	1	129				4	1	129
13												
14	1	1	136							1	1	136
15												
16												
17												
18				1						1		
19							1	1	123	1	1	123
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
月計	2	1	136	4	1	129	3	2	213	9	4	478
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
月計												
総計	18	9	1,124	24	9	1,058	35	19	2,164	77	37	4,346

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

表 4

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備 考
1	5月28日	塩原	117					0.00%	第3区:
				計	0	0			
2	5月30日	ヤマハ	97					0.00%	第3区:
				計	0	0			
3	6月5日	七ツ山	95	8月6日	80		62	85.26%	第3区:夜 第3区:朝
				8月7日	1		63		
				計	81	0			
4	6月7日	合戸	81	8月7日	48		61	60.49%	第3区:夜 第3区:夜
				8月8日	1		62		
				計	49	0			
5	6月8日	中町	86	8月8日	48		61	67.44%	第2区:朝 第2区:夜 第2区:朝
				8月8日	6		61		
				8月9日	4		62		
				計	58	0			
6	6月11日	ヤマハ	142	8月10日	51		60	76.76%	第3区:朝 第3区:夜 第3区:朝 第3区:朝 第3区:夜
				8月10日	34		60		
				8月11日	15		61		
				8月12日	7		62		
				8月13日	2		63		
				計	109	0			
7	6月13日	本町	113	8月11日	5		59	43.36%	第1区:朝 第1区:夜 第1区:夜
				8月11日	37		59		
				8月12日	7		60		
				計	49	0			
8	6月18日	ヤマハ	119	8月15日	79		58	68.90%	第3区:朝 第3区:朝
				8月15日	3		58		
				計	82	0			
9	6月20日	千浜	148	8月16日	80		57	93.24%	第3区:夜 第3区:朝 第3区:夜 第3区:朝 第3区:朝
				8月17日	19		58		
				8月17日	36		58		
				8月17日	1		58		
				8月20日	2		61		
				計	138	0			
10	6月20日	千浜	86	8月18日	1		59	1.16%	第3区:
				計	1	0			
11	6月22日	塩原	135	8月18日	67		57	51.11%	第3区:夜 第3区:朝
				8月19日	2		58		
				計	69	0			
12	6月22日	大山	135					0.00%	第2区:
				計	0	0			
13	6月24日	中町	131	8月19日	102		56	90.83%	第2区:朝 第2区:夜 第2区:夜
				8月19日	6		56		
				8月20日	11		57		
				計	119	0			
14	6月27日	七ツ山	135	8月21日	98		55	74.07%	第3区:朝 第3区:朝
				8月22日	2		56		
				計	100	0			
15	6月28日	東町	139	8月20日	129		53	95.68%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝 第1区:夜
				8月21日	1		54		
				8月22日	1	1	55		
				8月22日	2		55		
				計	133	1			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
16	7月1日	東町	103	8月22日	97		52	97.08%	第1区:朝 第1区:朝
				8月26日	3		56		
				計	100	0			
17	7月1日	ヤマハ	105	8月22日	45		52	46.66%	第3区:夜 第3区:朝
				8月23日	4		53		
				計	49	0			
18	7月2日	大山	112	8月22日	86		51	80.35%	第2区:夜 第2区:夜 第2区:朝
				8月25日	2		54		
				8月28日	2		57		
				計	90	0			
19	7月4日	ヤマハ	143					0.00%	第3区:
20	7月7日	中町西	123	8月28日	5		52	5.69%	第2区:朝 第2区:朝
				8月31日	2		55		
				計	7	0			
21	7月13日	中町	129	8月27日	100		45	81.39%	第2区:朝 第2区:朝 第2区:夜
				9月3日	4		52		
				9月4日	1		53		
				計	105	0			
22	7月14日	東町	142	9月4日	42		52	29.57%	第1区:朝
				計	42	0			
23	7月14日	合戸	101	9月3日	80		51	79.20%	第3区:朝
				計	80	0			
24	7月15日	本町	138	9月1日	115		48	86.95%	第1区:朝 第1区:夜 第1区:夜 第1区:夜
				9月4日	2		51		
				9月5日	2		52		
				9月8日	1		55		
				計	120	0			
25	7月15日	中町	123	9月4日	105		51	85.36%	第2区:朝
				計	105	0			
26	7月18日	塩原	125	9月6日	53		50	42.40%	第3区:夜
				計	53	0			
27	7月20日	東町	102	9月10日	26		52	25.49%	第1区:朝
				計	26	0			
28	7月23日	ヤマハ	101	9月11日	78		50	78.21%	第3区:夜 第3区:夜
				9月22日	1		61		
				計	79	0			
29	7月23日	中町	90	9月11日	85		50	94.44%	第2区:
				計	85	0			
30	7月24日	ヤマハ	75	9月11日	73		49	97.33%	第3区:夜
				計	73	0			
31	7月29日	東町	106	9月17日	82		50	77.35%	第1区:夜
				計	82	0			
32	7月30日	東町	145					0.00%	第1区:
				計	0	0			
33	7月30日	七ツ山	146	9月19日	2		51	2.05%	第3区:夜 第3区:夜
				9月20日	1		52		
				計	3	0			

平成28年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
34	8月2日	塩原	90	9月20日	52		49	57.77%	第3区:夜
				計	52	0			
35	8月12日	中町	129	10月10日	122		59	94.57%	第2区:
				計	122	0			
36	8月14日	東町	136					0.00%	第1区:
				計	0	0			
37	8月19日	塩原	123					0.00%	第3区:
				計	0	0			
合計 平均			4,346		2,087	0	55.68	48.02%	

放流頭数	2,087
0%巢を除いたふ化率	48.02%

最大ふ化率	97.33%
最小ふ化率	1.16%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	6	18.19%	815	18.75%
80%以上90%未満	5	15.15%	597	13.74%
70%以上80%未満	5	15.15%	585	13.46%
60%以上70%未満	3	9.09%	286	6.58%
50%以上60%未満	1	3.03%	225	5.18%
40%以上50%未満	3	9.09%	343	7.89%
30%以上40%未満	0	0.00%	0	0.00%
20%以上30%未満	2	6.06%	244	5.61%
10%以上20%未満	0	0.00%	0	0.00%
1%以上10%未満	3	9.09%	355	8.17%
0%	5	15.16%	896	20.62%
計	33	100.00%	4,346	100.00%

区名	巢数
第1区	9
第2区	9
第3区	19
計	37

表5
平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
5月1日							
5月2日							
5月3日							
5月4日							
5月5日							
5月6日							
5月7日							
5月8日							
5月9日							
5月10日							
5月11日							
5月12日							
5月13日							
5月14日							
5月15日							
5月16日							
5月17日							
5月18日							
5月19日							
5月20日							
5月21日							
5月22日							
5月23日							
5月24日							
5月25日							
5月26日							
5月27日							
5月28日	23.5	23.7	23.9	24.0	21.7	21.6	23.8
5月29日	23.2	23.1	23.4	23.5	18.3	18.8	23.2
5月30日	23.4	23.6	24.0	23.8	18.5	20.9	23.7
5月31日	21.7	21.9	22.4	22.6	18.9	18.9	21.8
平均	23.0	23.1	23.4	23.5	19.4	20.1	23.1

平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
6月1日	23.0	23.2	23.6	23.6	21.0	21.1	23.2
6月2日	23.1	23.1	23.4	23.5	17.0	20.2	22.8
6月3日	23.5	23.6	23.9	23.6	18.3	19.4	23.0
6月4日	23.0	23.0	23.4	23.5	17.9	19.8	23.0
6月5日	23.2	23.2	23.5	23.5	17.1	19.5	23.2
6月6日	22.4	22.5	22.7	22.9	17.9	17.6	22.5
6月7日	23.4	23.5	23.5	23.6	20.1	21.9	23.4
6月8日	23.2	23.2	23.5	23.6	19.5	19.8	23.2
6月9日	24.0	24.0	24.0	24.2	21.2	22.5	24.2
6月10日	23.3	23.4	23.6	23.7	20.6	21.4	23.5
6月11日	24.9	25.0	25.2	25.0	20.1	22.9	25.5
6月12日	24.7	24.9	25.2	25.1	20.9	24.2	24.6
6月13日	25.0	25.2	25.4	25.4	20.8	22.0	24.9
6月14日	23.9	23.9	24.2	24.2	20.1	21.5	23.9
6月15日	23.5	23.7	24.0	24.0	20.9	21.7	23.6
6月16日	24.7	24.9	25.0	25.1	22.3	23.8	25.0
6月17日	23.9	24.0	24.3	24.3	21.3	21.3	23.9
6月18日	24.8	25.1	25.2	25.0	20.5	21.6	25.2
6月19日	25.8	26.0	26.1	26.0	21.7	24.3	25.9
6月20日	25.1	25.1	25.4	25.3	20.9	21.7	25.0
6月21日	24.9	24.9	25.3	25.3	23.0	23.3	24.9
6月22日	24.0	24.1	24.0	24.1	22.1	22.2	24.2
6月23日	24.2	24.2	24.4	24.4	21.9	22.6	22.4
6月24日	25.7	25.2	25.4	25.2	22.3	22.9	25.2
6月25日	24.9	24.9	25.0	25.0	24.3	23.9	24.9
6月26日	24.7	24.9	25.0	25.0	18.1	20.0	25.0
6月27日	25.2	25.3	25.2	25.3	20.1	21.8	25.2
6月28日	25.8	25.6	25.7	25.6	18.8	21.0	25.6
6月29日	23.3	23.5	23.6	23.6	20.8	20.8	23.5
6月30日	23.8	23.9	23.8	23.9	20.5	21.9	23.8
平均	24.2	24.2	24.4	24.4	20.4	21.6	24.1

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の深さは、45cm。

平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
7月1日	24.6	24.9	24.9	24.9	23.0	24.1	24.9
7月2日	26.4	26.5	26.2	26.3	23.8	25.5	26.2
7月3日	26.9	27.0	27.1	27.0	25.2	27.1	26.9
7月4日	27.3	27.2	27.3	27.4	24.1	26.3	27.1
7月5日	28.0	28.0	28.2	28.1	22.8	26.8	27.7
7月6日	28.1	28.0	28.0	28.1	22.3	25.8	28.0
7月7日	27.8	27.8	28.2	28.1	24.1	26.6	27.8
7月8日	28.3	28.3	28.7	28.7	22.9	26.9	28.2
7月9日	28.1	28.0	28.4	28.2	22.7	25.5	27.8
7月10日	25.0	25.0	25.5	25.4	22.4	22.0	25.2
7月11日	27.1	27.2	27.1	27.2	23.0	25.0	27.3
7月12日	28.3	28.5	28.4	28.5	23.9	25.8	28.4
7月13日	28.1	28.1	28.0	28.1	24.0	25.5	28.4
7月14日	28.6	28.8	28.6	28.4	24.7	27.5	28.9
7月15日	28.8	28.5	28.7	28.8	24.8	27.5	28.7
7月16日	28.5	28.4	29.0	28.7	23.6	27.8	28.5
7月17日	28.5	28.4	28.8	28.8	24.6	27.8	28.4
7月18日	28.8	28.6	29.0	28.9	25.7	28.3	28.7
7月19日	28.9	28.7	28.7	28.7	25.0	27.6	28.9
7月20日	29.5	29.5	30.0	29.7	25.2	28.6	29.5
7月21日	30.0	29.9	30.3	30.2	24.4	28.7	30.0
7月22日							
7月23日	29.5	29.5	30.6	29.8	23.1	28.3	29.6
7月24日	29.2	29.2	29.9	29.6	23.3	27.9	29.2
7月25日	29.0	28.7	29.6	29.3	22.3	28.1	29.0
7月26日	29.3	29.2	30.0	29.5	23.6	25.9	29.7
7月27日	28.0	28.0	29.1	28.5	23.1	23.2	28.1
7月28日	26.4	26.2	26.6	26.0	23.4	23.3	26.2
7月29日	27.5	27.5	28.2	27.8	24.1	26.3	27.7
7月30日	28.8	28.5	29.4	29.1	23.5	25.5	28.8
7月31日	29.5	29.3	30.1	29.8	24.4	26.1	29.7
平均	28.1	28.0	28.4	28.3	23.8	26.4	28.1

平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
8月1日	29.3	29.2	30.5	30.0	25.1	28.3	29.2
8月2日	29.7	29.5	30.8	30.2	25.4	28.9	29.7
8月3日	29.4	29.3	30.6	29.9	25.1	28.2	29.4
8月4日	29.3	29.0	31.2	29.8	25.4	26.8	29.2
8月5日	29.9	29.5	31.3	30.2	25.1	28.0	29.8
8月6日	30.1	30.0	31.7	30.7	25.5	28.7	30.2
8月7日	30.9	31.0	32.6	31.8	26.1	29.9	31.0
8月8日	31.0	30.8	32.6	31.9	26.1	29.9	31.0
8月9日	31.6	31.7	33.5	32.2	26.8	30.2	31.7
8月10日	31.1	31.1	32.7	32.0	26.1	29.6	31.7
8月11日	31.2	31.2	32.6	32.0	25.5	28.9	31.8
8月12日	30.8	30.9	32.2	31.6	26.3	28.7	31.1
8月13日	30.8	30.9	32.2	31.6	26.3	28.7	31.1
8月14日	30.7	30.9	32.2	32.2	25.1	29.1	30.9
8月15日	29.7	30.1	31.3	30.6	25.1	27.1	30.0
8月16日	29.1	29.4	30.4	29.9	26.4	26.3	29.3
8月17日	30.1	30.3	31.5	31.1	27.5	29.7	30.6
8月18日	30.0	31.0	32.1	32.0	26.5	29.5	30.8
8月19日	31.1	31.3	32.1	32.1	26.6	30.1	31.1
8月20日	31.7	32.2	34.3	34.2	28.1	28.9	32.0
8月21日	31.4	32.1	32.2	32.5	26.7	30.4	31.5
8月22日	31.5	32.1	32.2	32.2	27.4	30.7	31.7
8月23日	29.4	30.5	30.3	31.3	25.9	25.8	29.5
8月24日	29.6	31.0	30.4	31.0	26.2	27.1	29.8
8月25日	30.1	30.5	30.8	31.2	26.1	27.8	30.2
8月26日	30.6	31.1	31.2	31.9	25.7	28.0	30.7
8月27日	30.8	31.4	31.4	32.2	26.1	29.9	31.0
8月28日	30.3	31.1	30.9	32.2	25.2	24.9	30.6
8月29日	29.4	30.6	29.6	30.7	26.6	26.4	29.5
8月30日	29.6	30.9	29.7	30.5	23.7	27.3	29.7
8月31日	28.6	29.6	29.0	30.2	22.7	24.2	28.9
平均	30.3	30.7	31.5	31.4	25.9	28.3	30.5

平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
9月1日	29.3	30.0	29.3	30.7	25.5	25.1	29.9
9月2日	29.7	30.3	29.8	31.0	24.3	25.7	30.1
9月3日	30.1	30.9	30.2	31.6	27.1	28.0	30.6
9月4日	30.0	30.5	30.5	31.6	26.7	28.5	30.0
9月5日	30.3	30.7	30.2	31.9	26.4	26.0	30.2
9月6日	28.9	29.9	29.5	31.4	27.9	28.1	29.3
9月7日	27.1	28.7	27.8	29.6	24.5	25.5	28.2
9月8日	28.0	28.4	28.5	29.4	26.8	25.9	28.2
9月9日	27.6	27.7	27.7	28.6	24.1	23.9	27.3
9月10日	26.2	28.2	28.0	28.8	25.7	24.4	28.0
9月11日	28.7	29.1	29.1	29.7	25.7	26.9	29.0
9月12日	27.1	27.8	27.2	27.8	25.3	24.0	27.4
9月13日	26.0	26.8	27.6	27.6	26.0	24.7	27.2
9月14日	26.5	26.6	26.8	26.8	23.8	24.8	26.3
9月15日	26.9	26.7	26.6	26.9	23.3	23.9	26.9
9月16日	26.1	26.1	26.2	26.5	24.6	24.7	26.0
9月17日	26.4	26.7	26.3	26.9	25.7	25.0	26.3
9月18日	27.4	27.5	27.7	27.9	25.3	25.3	27.6
9月19日	27.0	26.6	27.0	27.2	24.7	24.5	27.0
9月20日	25.6	25.9	26.5	26.1	22.8	22.6	24.9
9月21日	24.3	24.9	24.9	25.0	22.0	21.6	24.7
9月22日	24.2	24.6	24.4	24.6	21.5	21.1	24.7
9月23日	23.9	24.0	23.7	24.1	24.1	24.2	24.2
9月24日	23.3	23.8	23.8	23.8	24.3	24.1	23.7
9月25日	24.0	24.0	23.9	23.9	21.7	21.5	23.9
9月26日	25.0	25.0	24.3	24.7	22.6	22.5	25.2
9月27日	25.5	25.6	25.5	25.7	28.0	25.1	
9月28日	27.4	27.1	25.6	27.2	24.7	26.5	27.4
9月29日	27.5	27.4	27.2	27.2	24.5	24.9	
9月30日	27.4	27.1	27.0	27.1	23.6	23.9	23.8
平均	26.9	27.3	27.1	27.7	24.8	24.8	27.1

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

平成28年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
10月1日	24.3	25.4	25.5	25.6	24.3	24.1	26.8
10月2日	25.8	25.8	25.8	26.0	22.7	24.3	26.1
10月3日	26.2	25.4	25.7	25.6	23.9	23.9	25.7
10月4日	24.1	24.6	24.7	24.8	27.7	27.5	24.6
10月5日	25.2	25.3	25.4	25.2	24.2	23.2	25.5
10月6日	25.6	25.5	25.5	25.5	23.2	21.0	25.6
10月7日	25.5	25.2	25.1	25.1	24.4	24.4	24.5
10月8日	25.0	25.1	25.0	25.0	22.9	22.0	23.5
10月9日	25.5	25.3	25.2	25.4	24.5	24.3	25.5
10月10日	23.0	22.6	23.2	23.0	20.9	21.0	22.5
10月11日	23.7	23.2	23.8	23.9	20.0	20.5	23.9
10月12日	22.9	23.7	23.1	24.0	23.8	23.5	23.4
10月13日	24.4	24.4	24.1	24.3	20.0	20.0	24.5
10月14日	22.7	22.4	22.0	22.5	19.5	19.6	19.5
10月15日	22.1	22.4	21.9	22.5	17.8	18.9	20.4
10月16日	23.3	23.3	23.0	23.4	18.9	20.6	23.4
10月17日	23.5	23.2	23.1	23.4	19.8	19.5	22.5
10月18日	20.8	21.2	21.1	21.3	23.1	20.1	21.4
10月19日	23.2	23.2	22.6	23.0	21.3	20.8	23.1
10月20日	24.1	23.8	23.3	23.8	20.6	19.5	24.0
10月21日	24.2	23.7	23.3	23.5	20.8	19.9	23.8
10月22日	24.1	23.2	23.1	23.4	19.9	17.8	23.5
10月23日	23.4	23.3	23.2	23.4	19.0	20.5	23.5
10月24日	22.2	22.4	21.9	22.3	17.9	17.9	21.6
10月25日	19.8	21.0	19.8	20.3	18.6	18.1	20.9
10月26日	19.9	22.0	19.9	20.1	19.8	18.2	20.2
10月27日	21.9	21.6	21.7	22.0	18.1	18.2	22.0
10月28日	22.1	21.9	20.6	21.1	20.5	19.5	21.9
10月29日	21.2	20.7	20.6	20.7	24.7	22.1	21.1
10月30日	21.1	21.1	21.8	20.9	14.1	17.1	21.3
10月31日	19.5	19.2	18.6	17.6	15.7	15.4	18.9
平均	23.2	23.3	23.0	23.2	21.1	20.8	23.1

(2) アカウミガメ産卵観察会

アカウミガメ産卵観察会は、御前崎の貴重な文化財である自然動物のアカウミガメや、その保護活動をPRすることにより生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図ることを目的に行っている。

期 日 : 7月24日(日)～7月31日(日) 8日間中7日間 実施

会 場 : ウミガメふ化場・御前崎海岸(通称:下岬海岸)

参加者数 : 延べ900人(最大一日参加者数:210人)

備 考 : 27日に上陸および産卵が1頭。(既にJP80014の標識タグ付きのカメ)

確認日	時間 20:30～	曜日	天候	上陸 場所	産卵 個数	発見 時間	甲長	甲幅	参加 人数	備 考
7月24日	21:48	日	晴	—	—	—	—	—	127人	上陸なし
7月25日	21:45	月	晴	—	—	—	—	—	57人	上陸なし
7月26日	中止	火	雨	—	—	—	—	—	0人	雨天のため中止
7月27日	23:30	水	くもり	海藻場	72個	21:05	70cm	60.5cm	77人	上陸および産卵
7月28日	21:50	木	晴	—	—	—	—	—	103人	上陸なし
7月29日	21:50	金	晴	—	—	—	—	—	170人	上陸なし
7月30日	22:03	土	晴	—	—	—	—	—	210人	上陸なし
7月31日	21:55	日	晴	—	—	—	—	—	156人	上陸なし



写真10 ウミガメ産卵観察会風景写真

(3) アカウミガメ放流観察会

アカウミガメ放流観察会は、子ガメを通じて保護活動をPRすることにより、御前崎の貴重な文化財であるアカウミガメを広く知ってもらい、生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図る目的で行っている。

○一般放流観察会

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	備考
8月26日	金	曇り	164頭	下岬海岸	170人	
8月27日	土	荒天のため	中止			
8月28日	日	高波のため	中止			

○個別放流観察会

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	団体名
8月25日	木	曇	52頭	下岬海岸	130人	さくらこども園
8月29日	月	曇	中止	中止	中止	北こども園
8月30日	火	曇	中止	中止	中止	白羽幼稚園 御前崎こども園
9月3日	土	晴	258頭	下岬海岸	169人	黒潮サッカースポーツ少年団



1 さくらこども園の放流観察会での説明風景



2 さくらこども園の放流観察会での子ガメ観察風景



3 一般放流観察会の子ガメの放流風景



4 一般放流観察会での子ガメ観察風景

写真11 ウミガメ放流観察会風景写真

(4) 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太
 事務所の所在地 静岡市葵区追手町9番6号
 着手及び終了の時期 平成28年4月22日
 平成28年7月8日
 施行者の氏名 静岡県袋井土木事務所長
 施工者の住所 静岡県袋井市山名町2番1号

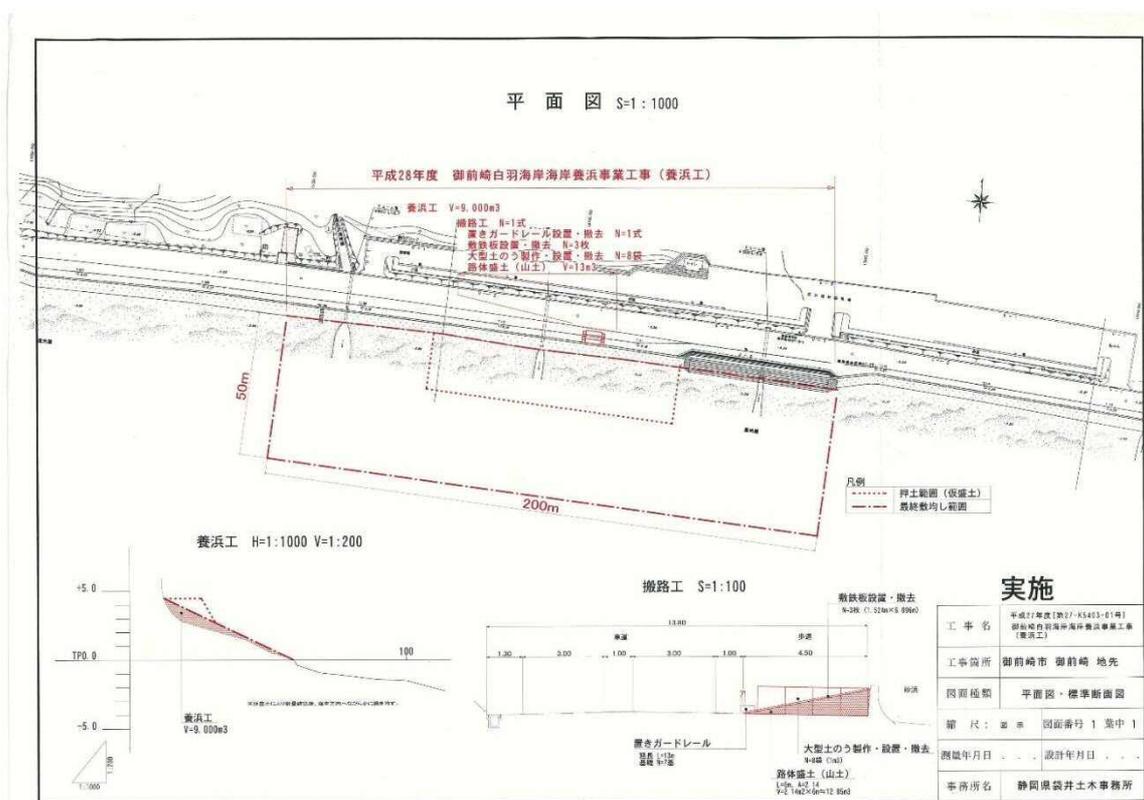


第18図 現状変更運搬経路図

浜地の侵食を防止するため、平成28年2月12日付けで静岡県知事川勝平太氏より御前崎市教育委員会社会教育課に「国指定天然記念物現状変更許可申請書」の提出があり、平成28年2月26日付けで文化庁長官(県文化財保護課経由)に副申を付けて進達した。平成28年4月22日付けで文化庁長官より、文化財保護法第125条第1項の規定によって許可するとの許可書が通知され、申請者に伝達した。

① 現状変更等の内容及び実施の方法

マリパーク御前崎に堆積した砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜(V=9,000m³)した。ダンプトラックにより、土砂を海岸へ直接投入する。その後、ブルドーザーにより、周辺地形と調和するように、なだらかに敷き均す。



第19図 平成28年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事(養浜工)平面図

現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太
 事務所の所在地 静岡市葵区追手町9番6号
 着手及び終了の時期 平成28年11月18日
 平成29年2月24日
 施工者の氏名 静岡県袋井土木事務所長
 施工者の住所 静岡県袋井市山名町2番1号

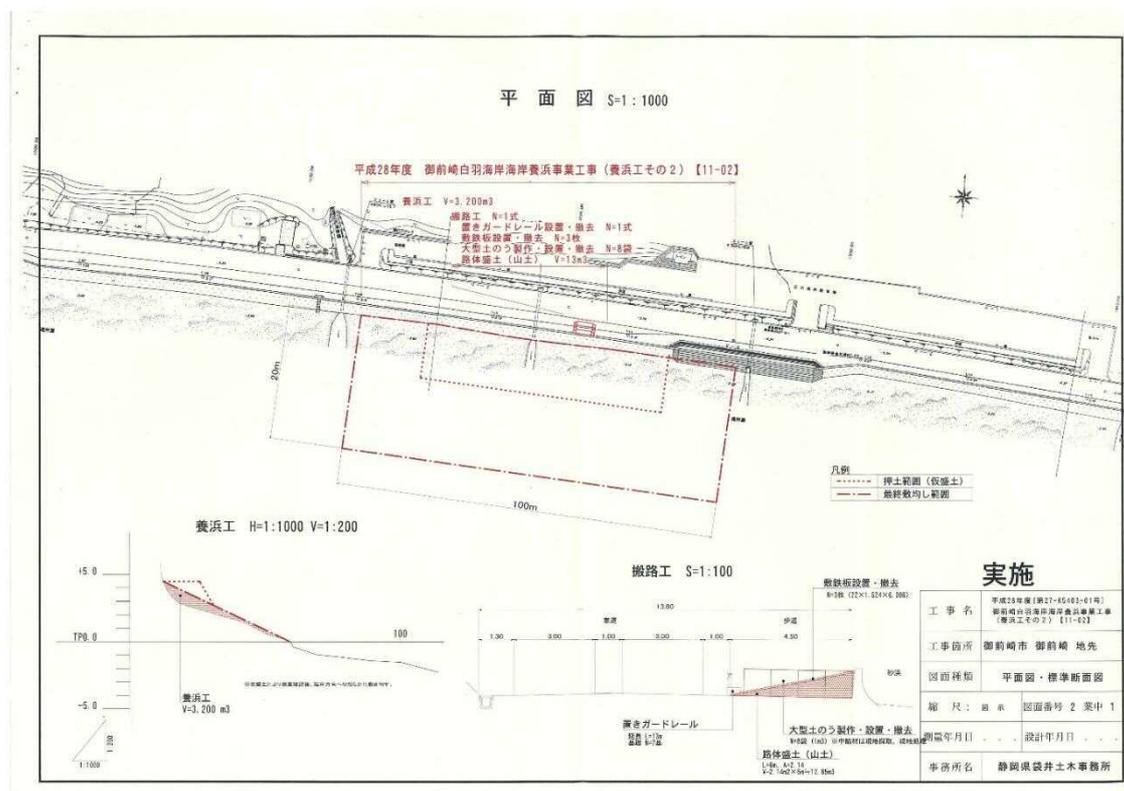


第20図 現状変更運搬経路図

浜地の侵食を防止するため、平成28年9月26日付けで静岡県知事川勝平太氏より御前崎市教育委員会社会教育課に「国指定史跡名勝天然記念物現状変更申請書」の提出があり、平成28年10月11日付けで文化庁長官(県文化財保護課経由)に副申を付けて進達した。平成28年11月18日付けで文化庁長官より、文化財保護法第125条第1項の規定によって許可するとの許可書が通知され、申請者に伝達した。

② 現状変更等の内容及び実施の方法

御前崎港内浚渫土砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜(V=3,200m³)した。ダンプトラックにより、土砂を海岸へ直接投入する。その後、ブルドーザーにより、周辺地形と調和するように、なだらかに敷き均す。



第21図 平成28年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事(養浜工その2)平面図

(5) ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 7 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

活動としては、上陸期間中の毎朝の海岸巡視、観光シーズンと重なる上陸・産卵のピーク時においては夜間のパトロール、ウミガメに関する記録や調査、海岸清掃など数々の活動を行った。また、ウミガメ保護の啓発事業として、産卵・放流観察会、新聞やテレビ等の取材対応などを実施した。観察会は参加者増に対応出来ないため、それほど多くの広報活動をしていないにも関わらず、県内外から多くの参加者があった。平成 28 年度は産卵観察会期間中に 1 頭の上陸・産卵を観察することが出来たが、数回参加しても観察出来なかった参加者からは来年度も来ますという声があがった。また、一般・個別放流観察会については予定していた 7 回の観察会の内 4 回が荒天のため中止となった。平成 28 年度においてはウミガメの上陸頭数・産卵個数がほぼ例年並みに改善したとはいえ依然ウミガメを取り巻く環境は厳しい状況にあると考えられる。これらの状況がウミガメの個体数の減少に起因するものであれば、より一層保護活動の重要性が高まる。

御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。そんな中、海岸清掃や砂の浚渫を行い、少しでもウミガメが安心して産卵できる環境を整備しているが、海岸の浸食は著しくなる一方である。

今後もウミガメ保護を第一に考え、ウミガメから御前崎の自然や歴史、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励まし、貴重なご意見・ご指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動にあたたかいご支援・ご協力をお願いしたい。



写真 12 御前崎のウミガメ及びその産卵地

2 市指定有形文化財「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」の指定

(1) 徳川慶喜指毫の池宮神社扁額の概要

『徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額』は、池宮神社拝殿内に掲げられている。この扁額の寸法は、縦 84cm、横 181cm で、扁額の四隅に留め金具があり、それとは別に上部と下部に 3 個、左右に 1 個ずつ、円形の飾り金具があしらってある。その飾り金具のうち、上部と下部の中央と左右の合計 4 つの飾り金具は徳川家の家紋である「三つ葉葵」の紋様が表現されている。それ以外の 4 つの飾り金具は、池宮神社の宮司である佐倉家の家紋「葉三花三紋」が表現されている。

この扁額には「慶喜」の落款が押されており、江戸幕府第十五代将軍であった徳川慶喜が明治時代初期の 1868 年(慶応 4 年・明治元年) 5 月 30 日に社号「池宮神社」を揮毫し、奉納したと伝えられている。

また、平成 28 年 2 月に池宮神社が愛知東邦大学の増田孝教授(古文書学者・書跡史学者)に依頼して、この扁額の書の鑑定をしている。その結果、徳川慶喜の自筆に間違いのないとの鑑定結果が出ている。

この徳川慶喜と池宮神社の両方に関係する人物としては、1884(明治 17)年 9 月 27 日に第 3 代静岡県令に就任し、1886 年の地方官官制公布により初代県知事となった関口隆吉があげられる。『徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額』は、徳川慶喜との親交が深かった関口隆吉の父である隆船が池宮神社の出身であったことから、徳川慶喜が揮毫してくれたものと考えられる。

『徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額』は大変丁寧に作られた堂々たる佳品であり、幕末から明治時代初期に活躍した徳川慶喜や関口隆吉などの人物やその時代の歴史を伝える品とも言えることから、御前崎市及びこの地方の文化史上たいへん貴重なものである。

(2) 指定に至るまでの経緯

① 文化財指定申請

平成 28 年 7 月 19 日付けで、池宮神社宮司の佐倉東武氏より、市指定有形文化財(書跡)の文化財指定申請書が御前崎市教育委員会に提出された。

② 御前崎市文化財保護審議会への諮問

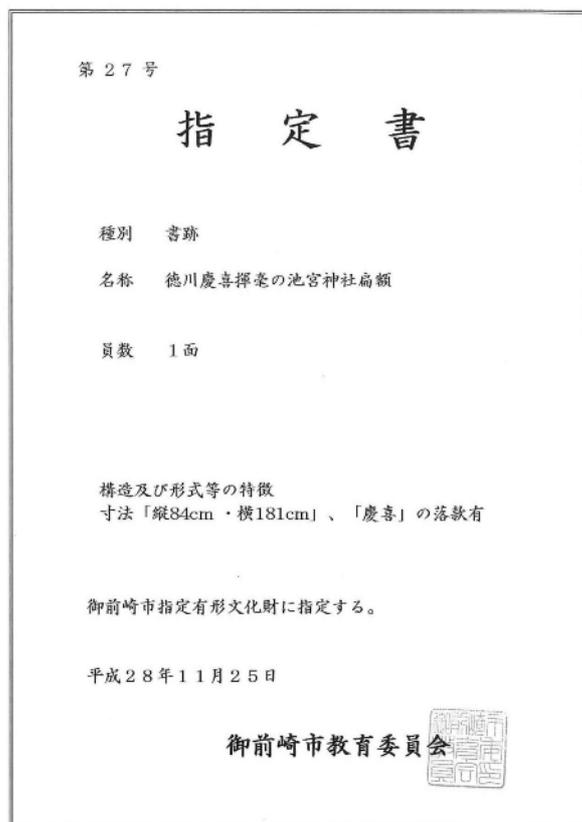
御前崎市教育委員会は平成 28 年 8 月 25 日付けで、御前崎市文化財保護審議会条例第 4 条第 3 項に基づき、市文化財保護審議会に御前崎市指定文化財への指定について諮問した。

③ 御前崎市指定文化財の指定についての答申

御前崎市教育委員会の諮問に応じて平成 28 年 10 月 14 日に文化財保護審議会を開催し、徳川慶喜指毫の池宮神社扁額の指定についての審議が実施された。その結果、御前崎市指定有形文化財(書跡)に指定することが妥当であると教育委員会に答申された。

④ 御前崎市教育委員会による指定

平成 28 年 11 月 25 日に定例教育委員会が開催され、同日付で御前崎市指定有形文化財(書籍)に指定された。



徳川慶喜指毫の池宮神社扁額の指定書(表)



1 徳川慶喜指毫の池宮神社扁額



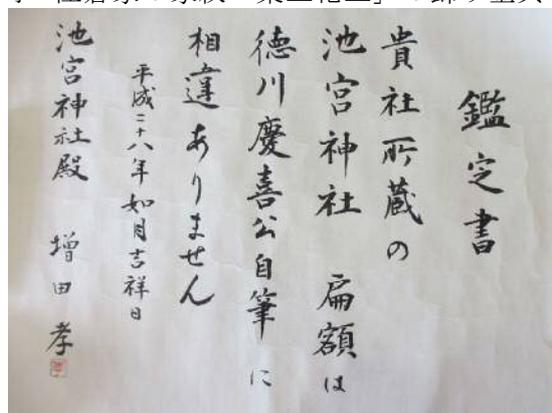
2 徳川家の家紋「三つ葉葵」の飾り金具



3 宮司・佐倉家の家紋「葉三花三」の飾り金具



4 扁額に押されている慶喜の落款



5 愛知東邦大学教授・増田孝氏による鑑定書

写真 13 御前崎市指定有形文化財「徳川慶喜指毫の池宮神社扁額」

3 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更

(1) 現状変更の概要

比木賀茂神社の社務所は築 75 年が経過しており、老朽化し近年では白アリ被害等で痛みが多く建替えをしたいが、比木賀茂神社社叢の指定地内にあることから、平成 28 年 4 月 5 日付で御前崎市教育委員会に県指定史跡名勝天然記念物現状変更等許可申請書の提出があった。そのため、御前崎市教育委員会は、平成 28 年 4 月 12 日付け御教社第 3 号で進達した。

平成 28 年 4 月 25 日付教文第 152 号で、静岡県教育委員会教育長から申請者宛てに建替えの許可が出たことから平成 28 年 6 月 23 日から 9 月 30 日まで社務所の建替えが実施された。平成 28 年 10 月 3 日に比木賀茂神社宮司から現状変更終了届が提出されたことから、平成 28 年 10 月 18 日付御教社第 179 号で静岡県教委員会教育長に進達した。



1 旧社務所の撤去後の様子



2 新たに建設された社務所の外観

写真 14 比木賀茂神社社叢の現状変更(社務所の建替)

4 県指定天然記念物『比木賀茂神社社叢』の損傷及び維持の措置

比木公民館の館長より、平成 28 年 9 月 11 日に比木賀茂神社管理運営委員会の毎月定例の巡視の際に、大径木No.271 の根元で 2 本に分かれたシイノキの片方が遊歩道を塞ぐように根元から倒れているとの連絡があった。そのシイノキの確認と損傷の現状を把握するために写真により記録し、その写真を添付して県指定文化財損傷届を平成 28 年 9 月 15 日付御教社第 157 号で届出した。

大径木No.271 のシイノキを確認したところ、2 本に分かれた片方の幹が根元から倒れて衰亡しており、当該部分の復旧が明らかに不可能であるため、静岡県文化財保護条例 33 条第 1 項のただし書及び、同施行規則第 30 条第 1 項第 3 号に基づき、維持の措置として当該部分を除去した。



1 損傷したシイノキの状況



2 損傷したシイノキの除去

写真 15 比木賀茂神社のシイノキ(大径木No.271)の損傷及び維持の措置

5 高松倉庫保管の有形民俗文化財燻蒸処理業務

(1) 燻蒸処理業務の概要

高松倉庫には、主に旧御前崎町時代に収集された白羽地区・御前崎地区の文化財資料が多数保管されている。これらの文化財資料は木材や紙、布などの有機素材でできているものが多いため、害虫に被害されたり、カビによる被害が発生している。高松倉庫では広範囲にわたって多量の文化財資料に害虫やカビの被害が発生しているため、密閉した空間にガス状にした薬剤を充満させて殺虫や殺菌を行う燻蒸処理を実施し、貴重な文化財資料の保存を図る必要があることから、関東港業株式会社に委託して実施した。高松倉庫収蔵資料燻蒸業務の概要は以下のとおりである。

(2) 業務概要

委託者 御前崎市長 柳澤重夫

業務名称 平成28年度文化財保護事業 高松倉庫保管の有形民俗文化財燻蒸処理業務委託

施工場所 静岡県御前崎市門屋 2070-650

受託者 関東港業株式会社

実施年月日 自 平成28年5月26日 至 平成28年5月27日(2日間)

施工対象 高松倉庫 768 m²(192 m²)

施工目的 殺虫処理及び防カビ処理

施工方法 ブンカノン及びライセントによる密閉噴霧施工

使用薬剤 ブンカノン及びライセント

基準投薬量 20g/m³ 3.8Kg(ブンカノン)

と使用薬量 20g/m³ 15.4Kg(ライセント)

燻蒸時間 4時間以上

投薬方法 専用ノズルを装着し空間噴霧

排気方法 軸流扇に風管を接続し、屋外強制排気

テストサンプル バイオピース(供試虫)

ケミカルピース(薬剤付着量用濾紙)



1 燻蒸対象物



2 ブンカノン投薬作業



3 ライセント投薬作業

写真16 高松倉庫保管の有形民俗文化財燻蒸処理業務の方法

6 文化財看板の取替工事

(1) ウミガメふ化場 PR 看板新設・撤去工事

- 1 施工年月日 平成 28 年 9 月 30 日
- 2 施工場所 御前崎市御前崎
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

榛南青年会議所が平成 27 回ブロック会員大会を記念して 1994 年度に設置した看板が老朽化したことから、この看板を撤去して、ほぼ同じ場所に今年度新たにウミガメふ化場 PR 看板を御前崎市が新設した。



第 22 図 ウミガメふ化場の位置(1/25,000)



写真 17 旧ウミガメふ化場 PR 看板



写真 18 新たに設置したウミガメふ化場 PR 看板

(2) 大日寺の大日如来坐像説明看板の説明パネル取替工事

- 1 施工年月日 平成 29 年 1 月 18 日
- 2 施工場所 下朝比奈字岩地 605 番地
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

取替前の説明看板は、平成 16 年 4 月 1 日に合併した際に設置されたものであるため、パネルの細かいひび割れが発生して劣化が進んでいた。また、平成 27 年度に上原仏教美術館の学芸員に調査してもらった結果、年代や説明等を修正する必要が生じたため、パネルの取替工事を実施した。



第 23 図 大日堂の位置(1/25,000)



写真 19 大日寺の大日如来坐像の旧看板



写真 20 大日寺の大日如来坐像の新説明パネル

(3) ウミガメ産卵地指定地域啓発看板取替工事

- 1 施行年月日 平成 29 年 3 月 30 日
- 2 施行場所 御前崎市御前崎(メロンドーム下)
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

取替前の啓発看板は、平成 15 年以前の旧御前崎町の時に設置したもので看板の本体及び説明パネルが経年劣化したため、看板の取替工事を実施した。



第 24 図 ウミガメ産卵地看板の位置(1/25,000)



写真 21 旧ウミガメ産卵地/啓発看板の状況



写真 22 新たに設置したウミガメ産卵地啓発看板

(4) 釜原城跡説明看板取替工事

- 1 施行年月日 平成 29 年 3 月 30 日
- 2 施行場所 御前崎市新野
- 3 施工業者 太陽企画
- 4 施工理由

取替前の説明看板は、平成 10 年以前に設置したもので、下地板が腐食し、パネルも劣化したため、旧看板を撤去し、同じ場所に新たに看板を設置した。



第 25 図 釜原城跡の位置(1/25,000)



写真 23 釜原城跡の旧説明看板の状況

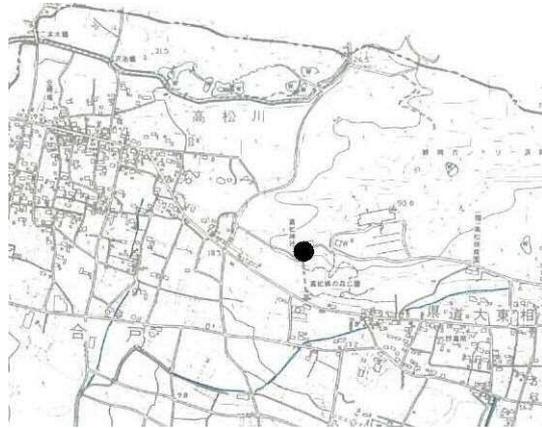


写真 24 釜原城跡の新説明看板

7 文化財防火デー

昭和24年1月26日に、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことから、この日が「文化財防火デー」と定められた。貴重な文化財を火災や震災などから守るため、この日を中心に全国各地で、文化財の防火訓練が行われ、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

御前崎市でも平成29年1月29日に、市指定有形文化財「高松神社本殿」の境内地において、消防本部、消防署、地元消防団、高松神社関係者及び市文化財保護審議会委員などが参加して放水訓練等が実施された。



第26図 高松神社本殿の位置(1/25,000)



1 消防用ホース延長訓練



2 消防署・消防団による放水訓練



3 消防署による消火器の使用法の指導



4 消火器の使用訓練

写真25 高松神社消防訓練風景

8 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成16年4月1日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年4月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

(1) 委員の構成（任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日）

役職名	氏名	就任年月日	地区
会長	大須賀 春 爾	H28. 4. 1 (H3. 4. 1)	御前崎
副会長	清 水 芳 治	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	佐 倉
委員	中 山 貞 雄	H28. 4. 1 (H16. 4. 1)	白 羽
委員	齋 藤 正 敏	H28. 4. 1 (H21. 4. 1)	白 羽
委員	増 田 竹 雄	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	御前崎
委員	清 水 富 夫	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	池新田
委員	橋 本 益 利	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	比 木
委員	河原崎 重 治	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	朝比奈
委員	渥 美 周 逸	H28. 4. 1 (H25. 4. 1)	新 野

*就任年月日の（ ）は、旧町からの初就任年月日を示す

(2) 第1回文化財保護審議会

日 時 平成28年10月14日（金） 13:30～15:30

場 所 佐倉公民館 2階 会議室3

- 議 事
- ① 委嘱状交付
 - ② 正・副会長選出
 - ③ 「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」の現地調査
 - ④ 「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」の御前崎市指定有形文化財指定への諮問に係る審議
 - ⑤ 視察研修について
 - ⑥ その他(育英橋の取り扱いについて・主要文化財保護事業について)

(3) 文化財保護審議会視察研修

視察研修は、文化財保護の研究・活用及び委員の資質向上を目的として行っている。本年度は静岡県浜松市北区の女城主井伊直虎ゆかりの地などを視察した。

日 程 平成29年1月25日（月）

視察先 井伊氏発祥の井戸・龍潭寺・井伊氏居館跡・新野屋敷跡・浜松市地域遺産センター・東光院・気賀関所・大河ドラマ館



1 井伊氏発祥の井戸の視察風景



2 龍潭寺の新野左馬助公墓の視察風景



3 浜松市地域遺産センターの視察風景



4 井伊氏居館跡(井殿の塚)の視察風景



5 東光院の視察風景



6 気賀関所の視察風景

写真 26 文化財保護審議会視察研修

Ⅲ 文化財活用・啓発活動

1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった小・中学校や公民館などに訪問して下表のような体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解を深めるとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。

今年度は、下表のとおり埋蔵文化財出張授業の開催依頼のあった合計 46 名を対象に実施した。

平成 28 年度 埋蔵文化財出張授業一覧表

学校名・団体名	対象	人数	種類	月日	時間
浜岡北小学校	6年	34人	埋蔵文化財講座(小学校区の遺跡を知ろう)	4月26日	14時30分～15時15分
御前崎市振興公社	参加者	12人	ノルディックウォーク講座	2月5日	8時30分～12時00分

(1) 浜岡北小学校埋蔵文化財等出張授業

① 浜岡北小学校出張授業

日時 平成 28 年 6 月 30 日 14 時 30 分～15 時 15 分
 場所 浜岡北小学校 6 年 1 組教室
 対象 浜岡北小学校 6 年生 34 人
 講師 御前崎市教育委員会社会教育課 村本 薫
 内容 埋蔵文化財講座(浜岡北小学校区の遺跡を知ろう)

6 年生 34 名を対象に、市内最古の遺物である西原遺跡(上朝比奈)から出土した異形局部磨製石器や古墳時代の須恵器などの遺物を児童に見せるとともに、クイズなどを行い、当時の生活の様子や時代ごとの遺物の変遷などを説明した。



1 左馬武神社での説明風景

② 御前崎市振興公社イベントにおける埋蔵文化財出張授業

日時 平成 29 年 2 月 5 日 8 時 00 分～12 時 00 分
 場所 新野地区(柏木広場集合)
 対象 ノルディックウォーキング講座参加者 12 名
 講師 御前崎市教育委員会社会教育課 村本 薫
 内容 ノルディックウォーク講座

御前崎市振興公社主催のノルディックウォーク講座「新野左馬助公ゆかりの里めぐり&新野公民館まつり散策」(全行程 4 km)の参加者 12 名を対象に、左馬武神社、天ヶ谷の城平、天ヶ谷古墳、幡室古墳、舟ヶ谷城山で、文化財の成り立ちや時代背景を説明した。



2 天ヶ谷の城平での説明風景

写真 27 御前崎市振興公社イベントにおける埋蔵文化財出張授業

2 市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設

(1) 御前崎市大産業まつりにおける埋蔵文化財体験学習

① 日 時 平成 28 年 11 月 27 日(日)

② 場 所 御前崎市役所西側通路

御前崎市大産業まつりは、御前崎市秋イベント実行委員会(事務局:商工観光課)が主催するイベントで、市内の商店や企業、組合、団体などが多くのブースを出店し、工業製品や農水産物、食料品、サービスなどを PR、展示、販売しており、多くの市民が来場するイベントである。

教育委員会社会教育課では、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育むことを目的として、「原始工房 縄文屋」という名称で遺跡から出土した勾玉や火きり杵等の埋蔵文化財を展示するとともに、昔の火起こし体験、勾玉づくり体験ができるコーナーを開設した。今年度は 11 月 27 日(日)の 1 日だけの開催だったが、昔の火起こし体験 63 名、勾玉づくり体験 58 名の子供や親子の参加が得られた。

御前崎市大産業まつり展示資料一覧

遺跡名	所在地	時代	遺物名
南谷遺跡	下朝比奈	弥生後期	火きり杵
新井平横穴群	門 屋	古墳後期	碧玉製勾玉・メノウ製勾玉・蠟石製勾玉・水晶製切子玉



1 火起こし体験風景



2 火起こし体験風景



3 縄文屋ブース



4 勾玉づくり体験風景

写真 28 御前崎市大産業まつり「原始工房 縄文屋」ブース

3 御前崎市文化財保護強調週間事業

11月1日～11月7日までの一週間は、教育・文化週間(昭和34年9月4日閣議了解)となっており、全国的に各種の教育・文化に関する行事を実施することにより、国民の教育・文化に関する関心と理解を深め、もってその充実振興を図ることを目的として実施されている。また、文化庁次長からの通知では、その一環としてこの期間を文化財保護強調週間として、全国的に文化財に関する各種の行事を実施することにより、広く国民に文化財に関する理解と関心を深め、文化財保護への一層の協力を得ることを目的として、文化財関係者のみならず、広く他の関係機関、団体の協力の下、国民の文化財保護への

平成28年度 御前崎市文化財保護強調週間「のぼり旗」設置予定指定文化財等一覧表

1 国指定文化財

No.	種別	名称	所有者	のぼり旗設置の有無	のぼり旗の設置数	指定文化財公開の有無	備考
1	天然記念物	白羽の風船産地	横山彦平他	有	1	有	日中ならいつでも見学可能
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	—	有	5	有	日中ならいつでも見学可能
国指定文化財合計				—	6	—	—

2 県指定文化財

No.	種別	名称	所有者	のぼり旗設置の有無	のぼり旗の設置数	指定文化財公開の有無	備考
1	名勝	桜ヶ池	池宮神社	有	3	有	日中ならいつでも見学可能
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	海福寺	有	1	有	公開については要事前連絡
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお籠納め	お籠納め保存会	対象外	—	—	—
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	賀茂神社	有	5	有	日中ならいつでも見学可能
県指定文化財合計				—	9	—	—

3 市指定文化財

No.	種別	名称	所有者	のぼり旗設置の有無	のぼり旗の設置数	指定文化財公開の有無	備考
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽神社	有	2	有	日中ならいつでも見学可能
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	駒形神社	有	3	有	外側からのみ見学可能
3	史跡	星の墓遺跡(823㎡)	加藤英男他2名	有	3	有	日中ならいつでも見学可能
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽神社	対象外	—	—	—
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	増船寺	有	4	有	本堂にある為、寺の人に要確認
6	天然記念物	いちじょうの木(1本)	海福寺	有	1	有	公開については要事前連絡
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	紅雲寺	有	5	有	紅雲寺の方の了解を得られれば見学可能
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	海福寺	有	1	有	公開については要事前連絡
9	古文書	中山家文書(39通)	中山貞雄	対象外	—	—	—
10	古文書	本間家文書(16通)	本間家	対象外	—	—	—
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	山本雅己	2	—	—	看板の左右にのぼり旗を設置
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	旧妙音庵薬師堂保存会	有	4	有	附の薬師三尊十二神将は、12年に1度の御開帳時のみ公開
13	建造物	池宮神社本殿	池宮神社	有	2	有	日中ならいつでも見学可能
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	滝 朝夫	有	3	有	市道側からならいつでも見学可
15	絵画	千羽の鶴(1点)	駒形神社	有	1	有	拝殿内にあるため見学できない
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽神社	有	2	有	日中ならいつでも見学可能
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像(立像1軀・座像1軀)	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	有	5	有	日中ならいつでも見学可能
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	大日寺大日如来保存会	有	5	有	19年に1度の御開帳時のみ公開
19	古文書	水野家文書(1通)	水野信幸	対象外	—	—	—
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	御前崎市	対象外	—	—	—
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	増船寺	有	5	有	石造十一面観音立像は三十三年に1度の御開帳時のみ公開
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	高松神社	有	5	有	本殿内部の見学は許可に要確認
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形	御前崎市教育委員会	対象外	—	—	—
24	彫刻	岩地八幡神社神像	岩地八幡神社保存会	有	2	有	日中ならいつでも見学可能
25	建造物	岩地八幡神社本殿	岩地八幡神社保存会	有	1	無	—
市指定文化財合計				—	54	—	—

4 その他施設

No.	名称	のぼり旗設置の有無	のぼり旗の設置数	指定文化財公開の有無	備考
1	御前崎市役所	有	6	無	—
2	御前崎市教育会館	有	4	無	—
その他施設合計		—	10	—	—
国・県・市指定文化財施設・その他施設合計		—	79	—	—

理解と関心を深めるために有効と思われる文化財の公開や展示会、史跡めぐり等の各種行事を実施し、この週間の意義を高めるよう配慮する方針が示されている。

御前崎市では文化財保護強調週間の前後の期間(10月31日～11月11日)に、史跡・名勝・天然記念物や建造物などの指定文化財のある敷地内に、文化財保護強調週間のポスターの掲示や御前崎市教育委員会が作成した『文化財保護強調週間』ののぼり旗を3～5枚設置を指定文化財の所有者や管理者に依頼して、指定文化財や文化財保護強調週間の周知を行った。



写真 29 駒形神社の設置風景

4 答礼人形「富士山三保子」市町巡回展（御前崎市会場）の開催

平成 27 年が戦後 70 年にあたることから、戦争という不幸な歴史を乗り越え、米寿を迎えた「富士山三保子」の里帰りを実現させ、そして、日米友好の歴史を通じて、答礼人形「富士山三保子」と、県内に現存する「青い目の人形」に託された平和の大切さや命の尊さを後世に伝え、県民の平和に対する意識の高揚を図ることを目的として、日米友好の象徴として 88 年前の 1927(昭和 2)年に静岡県から米国に贈られた日本人形の里帰りを実現すべく『答礼人形「富士山三保子」里帰りを実現させる会』が平成 27 年 5 月 21 日に設立された。

御前崎市教育委員会は、市指定有形文化財に指定されている「旧朝比奈小学校の青い目の人形」を所有しているため、「青い目の人形」とゆかりを持つ団体等の代表者または役職者として実行委員会に参加することとなった。

平成 27 年度は、平成 28 年 2 月 21 日から 3 月 28 日までの期間に県内の東・中・西部の 3 会場で答礼人形「富士山三保子」とともに、御前崎市の「旧朝比奈小学校の青い目の人形」を含む、県内に残る 5 体の青い目の人形を展示した答礼人形「富士山三保子」里帰り展が開催された。

平成 28 年度は、4 月から 5 月上旬にかけて、答礼人形「富士山三保子」市町巡回展が開催された。市町巡回展の対象となったのは、県内の青い目の人形がある御前崎市、伊豆の国市、小山町、熱海市、富士市の 5 市町である。

御前崎市については、御前崎市立図書館展示室において平成 28 年 4 月 16 日(土)と 4 月 17 日(日)の 2 日間にわたって開催された。

展示の内容は、御前崎市教育委員会が所有している青い目の人形を展示すると共に、答礼人形「富士山三保子」と新調着物、お道具類、パスポートなどの関連するもの一式、平成 27 年度に開催された答礼人形「富士山三保子」里帰り展で展示された展示パネル 18 枚やアメリカ合衆国のケネディ大使からの寄贈人形である「キット・キットレッジ」とケネディ大使からの手紙、募金箱などを静岡県地域外交課から借用して展示した。

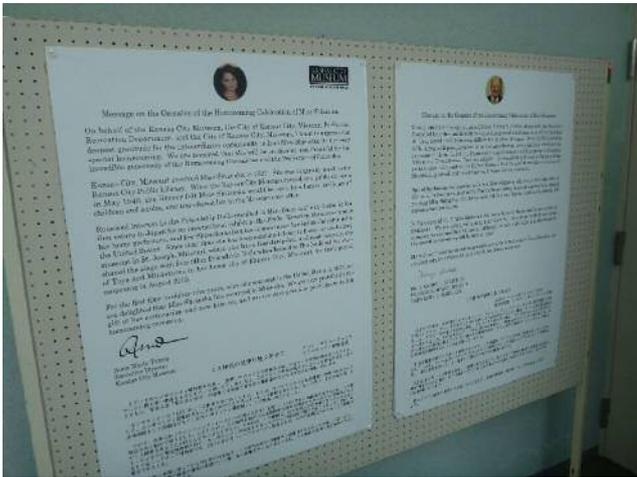
また、「旧朝比奈小学校の青い目の人形」が御前崎市指定文化財になる以前から所有しており、青い目の人形を守ってきた「ワレンスピリッツ」を学校教育に活かしている御前崎市立浜岡北小学校から、グランドデザインや大型パネル、マーベル賞・ワレン賞の賞状や「青い目の人形マーベル・ワレン学校評議員委嘱状」などについても借用して展示した。

展示した 2 日間の入場者数は 1 日目が 257 人、2 日目が 282 人の合計 539 人で、多くの市民らに観覧していただいた。



1 マーベルワレンちゃんの日塗り絵コーナー看板 2 御前崎会場受付、募金箱、挨拶パネル

写真 30 答礼人形「富士山三保子」市町巡回展御前崎市会場



1 ギューリック 3 世とチュテラ館長の挨拶パネル



2 御前崎会場(市立図書館展示室)の様子



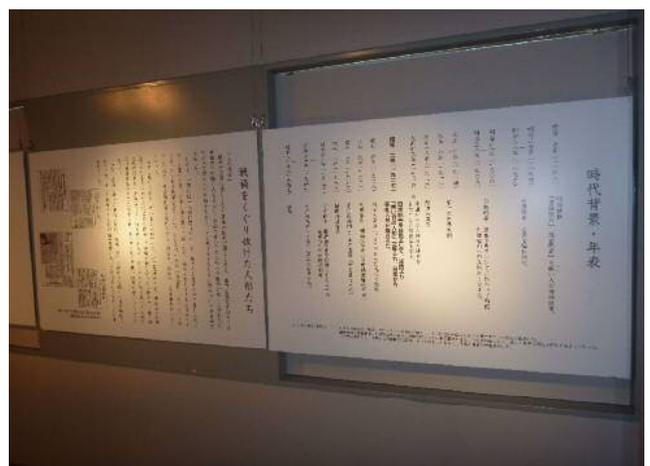
3 青い目の人形「マーベル・ワレン」展示風景



4 答礼人形「富士山三保子」展示風景



5 アメリカ合衆国大使から寄贈された人形



6 解説パネルの展示風景

写真 31 答礼人形「富士山三保子」市町巡回展御前崎会場での展示風景 1



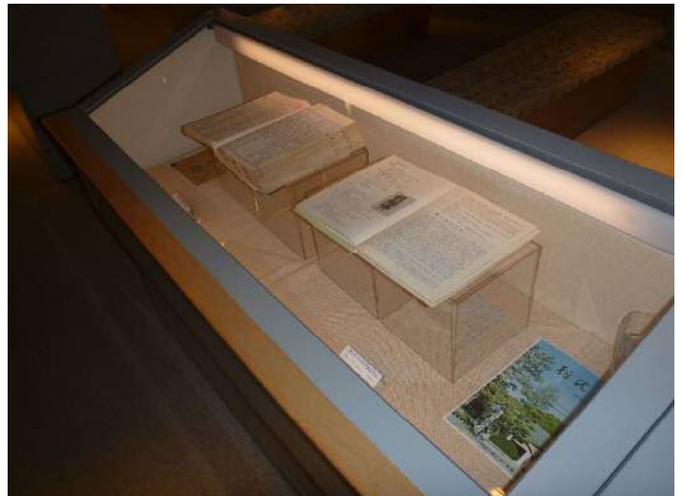
1 解説パネルの展示風景



2 解説パネルと「富士山三保子」の新調着物等



3 新調された「富士山美保子」のお道具類



4 旧朝比奈小学校の沿革誌と閉校記念誌



5 大型パネルとマーベル賞



6 ワレン・スピリッツとワレン賞



7 グランドデザインと特別委嘱状

写真 32 答礼人形「富士山三保子」市町巡回展御前崎会場での展示風景 2

写真資料の利用

(1) 株式会社御前崎ケーブルテレビの写真資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
旧朝比奈小学校の青い目の人形	3点	御前崎ケーブルテレビ自主制作番組「まおまお ch.NEWS」にて利用。10分程度の映像で、4月18日(月)から21日(木)の期間放送予定	平成28年4月15日
マーベルワレンの切符	1点		

(2) 一般財団法人 いも類振興会の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
農業 芋切り干し製造工程の写真	11点	「干しいも辞典」に掲載	平成28年8月3日

(3) 富士市富士川地区生涯学習推進会の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
旧朝比奈宗学校の青い目の人形の写真	1点	富士川ふれあいホールで開催される第8回富士川地区文化祭にて県内の青い目の人形と共に展示	平成28年10月6日

(4) 個人の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
浜岡原子力発電所予定地の写真	1点	「浜岡原発の廃炉を!」(自費出版)に掲載	平成28年10月30日

(5) 株式会社アルバの写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
丸尾文六の肖像写真	1点	ポプラ社発行『ポプラディア+人物事典』(全五巻)に掲載	平成28年11月4日

(6) 西奈図書館友の会の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
旧朝比奈宗学校の青い目の人形の写真	1点	静岡市立西奈州外学習センターで開催される「答礼人形 富士山三保子」手づくり大型紙芝居原画展に展示	平成28年11月29日

6 歴史民俗資料等の特別利用

(1) 静岡大成高等学校放送部の特別利用資料一覧

歴史民俗資料名	点数	利用目的	利用区分	利用日
旧朝比奈小学校の青い目の人形 マーベル・ワレンの切符	1点 1点	NHK杯全国高校放送コンテストへ出品するため	映像撮影	平成28年6月10日

(2) 静岡第一テレビ報道部アナウンス室の特別利用資料一覧

歴史民俗資料名	点数	利用目的	利用区分	利用日
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	以前に静岡第一テレビで撮影した番組を日本テレビ系列の番組とニュースの中で利用	以前撮影した映像の再利用	平成28年11月27日 平成28年12月4日

7 歴史民俗資料等の貸出し

(1) 御前崎市立浜岡北小学校貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	平成28年4月21日～ 平成28年4月26日
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	平成29年3月16日～ 平成29年3月22日

(2) 白羽公民館貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
打製石斧(星の糞遺跡出土)	1点	御前崎市教育委員会	平成28年7月14日～ 平成28年7月19日
石錘(星の糞遺跡出土)	2点		
磨製石斧(星の糞遺跡出土)	1点		



1 旧朝比奈小学校の青い目の人形



2 星の糞遺跡出土の打製石斧(上)と磨製石斧(下)

(3)中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	平成28年4月1日～平成29年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	平成28年4月1日～平成29年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	平成28年4月1日～平成29年3月31日
風呂鍬	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	平成28年4月1日～平成29年3月31日
水田除草機	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
唐箕	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
背負子	1点	新野	平成28年4月1日～平成29年3月31日
蓑	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
菅笠	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
藁草履	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	平成28年4月1日～平成29年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	平成28年4月1日～平成29年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	平成28年4月1日～平成29年3月31日
纏	1点	佐倉	平成28年4月1日～平成29年3月31日
ランプ	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
電話機	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
蓄音機	1点		平成28年4月1日～平成29年3月31日
合計	18点		



1 菅笠



2 藁草履

写真 34 『浜岡原子力館郷土展示ホール』に貸出している民俗資料

IV 指定文化財一覽表

1 国指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者所在地	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6621-246他	横山彦平衛他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	—	S55. 3. 6

2 県指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者所在地	指定年月日
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30 第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17 第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5 第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H9. 2. 17 第509号

3 市指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者所在地	指定年月日
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25 第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25 第2号
3	史跡	星の糞遺跡(823㎡)	白羽2179-1他	加藤英男他2名	S44. 6. 25 第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15 第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15 第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18 第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19 第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19 第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋952-1	中山貞雄	S52. 2. 28 第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	本間 周	S52. 2. 28 第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	山本雅己	S53. 9. 4 第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂保存会	S62. 10. 28 第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H2. 5. 17 第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽3454-6	滝 朝夫	H3. 11. 20 第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H6. 1. 31 第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H6. 1. 31 第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	H10. 3. 27 第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来保存会	H10. 3. 27 第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	水野信幸	H10. 3. 27 第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1 第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1 第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25 第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 (附:H26. 5. 26) 第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25 第27号

V 文化財関係刊行図書一覧

1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『-郷土のかおり-年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとのかみ』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の遺跡発掘調査報告書』		

2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門原横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新山・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第3集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺物編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『「桜ヶ池のお櫃納め」と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世-)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』一近世一
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新山村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋一浜岡町・閉町記念写真集一』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集『比木城山遺跡Ⅱ』	平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集『山田ヶ谷北横穴群』
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾『新野川流域の文化財』	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集『勝差墳墓群』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾『碓氷川流域の文化財』	平成26年度	御前崎指定史跡「藤田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅪⅠ』平成26年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅪⅡ』平成27年度版
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版		

静岡県御前崎市
文化財年報ⅩⅢ

2019年1月31日

編集 静岡県御前崎市教育委員会

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585

TEL 0537-29-8735

FAX 0537-29-8737